

〈お願い〉

（重 要）ご使用の前にお客様情報を登録してください。

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一ヶ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>



- 本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- 本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155
受付時間：AM10:00～PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

チャイルドシート

フラディア グロウ エバー プレミアム Fladea grow EVER Premium
フラディア グロウ エバー Fladea grow EVER

取扱説明書／保証書

本製品は、身長**40cmから100cm**までのお子さま用です。

ISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)を装備した車に使用できます。

但し、ISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)を装備した全ての車に取り付けられるものではありません。

取り付け前には必ず車種適合表をご確認ください。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**

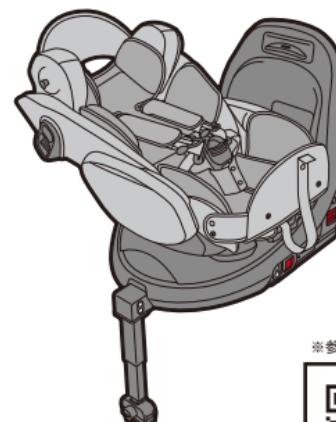
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。

製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

UN ECE-R129/03適合 特定車両用ISOFIXチャイルドシート

取り付け方法	お子さまの条件
横向きベッド	身長40cm～70cm
後向き	身長60cmかつ首すわり～87cm
前向き	身長76cmかつ月齢15ヵ月以上～100cm

*This car seat cannot be used for children over 17.5kg.



※本書にはプレミアムのイラストを使用しています。グレードにより異なる部分がございますがご了承ください。

ご使用前に(P2)

車への取り付け(P17)

各部の使いかた(P25)

横向きベッド(P37)

後向き(P42)

前向き(P47)

お手入れ・その他(P60)

保証書(P70)

もくじ

もくじ

ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
各部のなまえ	3
チャイルドシートの持ちかた	6
お子さまの条件	7
座席の条件	9
ご使用上の注意	13

車への取り付け

取り付け準備	17
取り付けかた	19
取り付け後の確認／日常点検	24

各部の使いかた

肩ハーネス調節のしかた	25
デブスマジスター(奥行き調節座面)の使いかた	26
回転のしかた	27
リクライニングのしかた(横向きベッド・後向きのみ)	29
ハーネス位置	31
肩ハーネス位置(フィットアジャスター部の高さ)の調節のしかた	33
パッドの使いかた	34

横向きベッド・後向き・前向き

横向きベッドのお子さまの乗せかた	37
横向きベッド使用時の確認	41
後向きのお子さまの乗せかた	42
後向き使用時の確認	46
前向きのお子さまの乗せかた	47
前向き使用時の確認	50
フレックスシェードの使いかた	51
車からの取り外しかた	56

お手入れ・その他

縫製品の洗いかた	60
シートカバーの取り外しかた	61
お手入れ／保管／廃棄のしかた	66
困ったときには	67
保証について	69
アフターサービスについての連絡先	69

保証書

保証書	70
-----	----

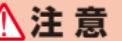
ご使用前に

チャイルドシートについて

- ・チャイルドシートは自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
- ・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に充分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。
- 〈中古品のご使用について〉
・前の使用者の使用履歴が分からぬ場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれます。
- ・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部のゆるみなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

本書の表示について

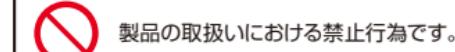
- ・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。
大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。
- ・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。
- ・開梱後は本書をよくお読みのうえ各動作確認をおこなってください。また、安心してご使用いただくため、取り付け後は定期的に各動作確認をおこなってください。本書通りに操作できない場合、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問合せください。

ご
使
用
前
に



製品の取扱いにおける禁止行為です。



製品の取り扱いで知っておくと便利な
アドバイス 内容です。

各部のなまえ

梱包内容

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

	パッド ・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。	付属品		
フラディア グロウ エバー プレミアム	 全身マモールクッション (使いかたはP34参照)	 肩パッドカバー (使いかたはP34参照)	 フレックスシェード (使いかたはP51参照)	 ガイドキャップ(2個) (使いかたはP19参照)
フラディア グロウ エバー	 全身マモールクッション (使いかたはP34参照)	—	 フレックスシェード (使いかたはP51参照)	 取扱説明書 (本書)

〈重 要〉ご使用の前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。

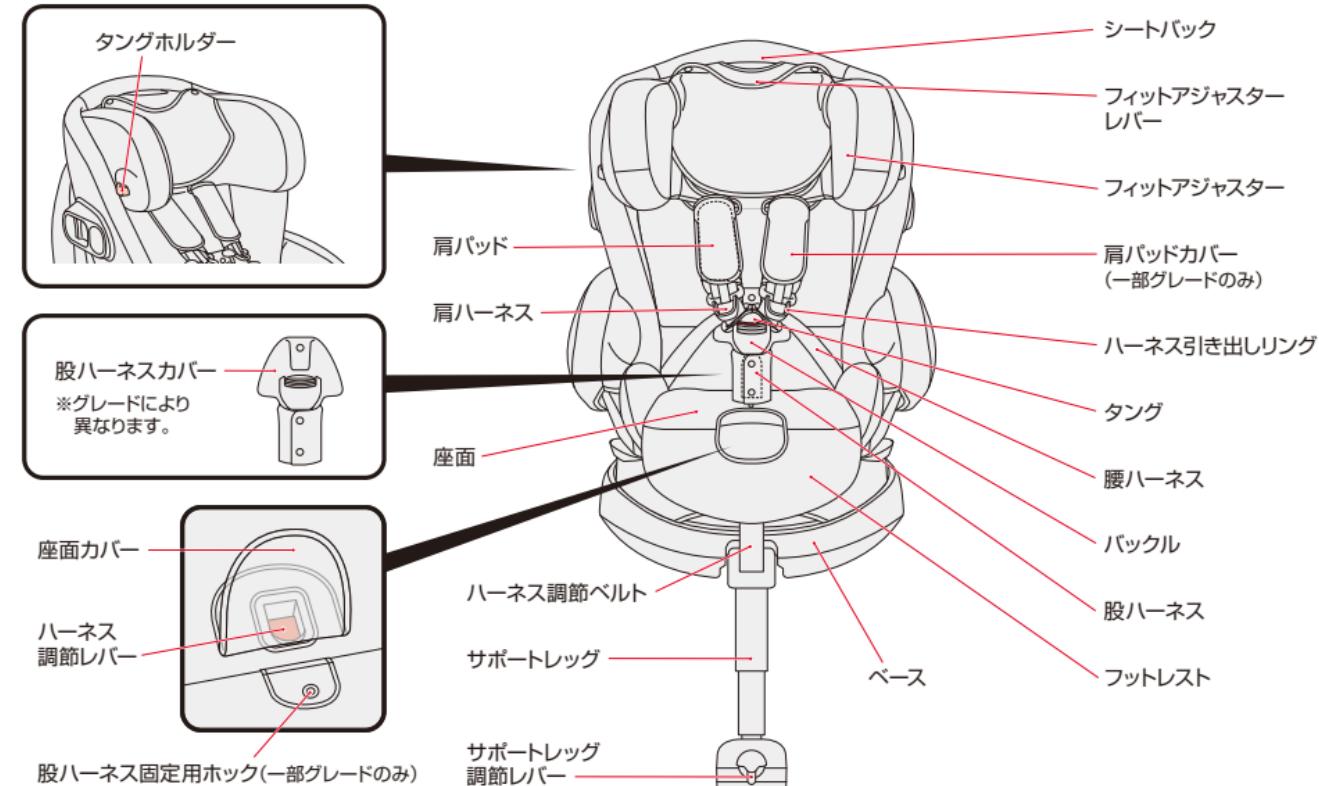
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一ヶ月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <https://www.aprica.jp/>

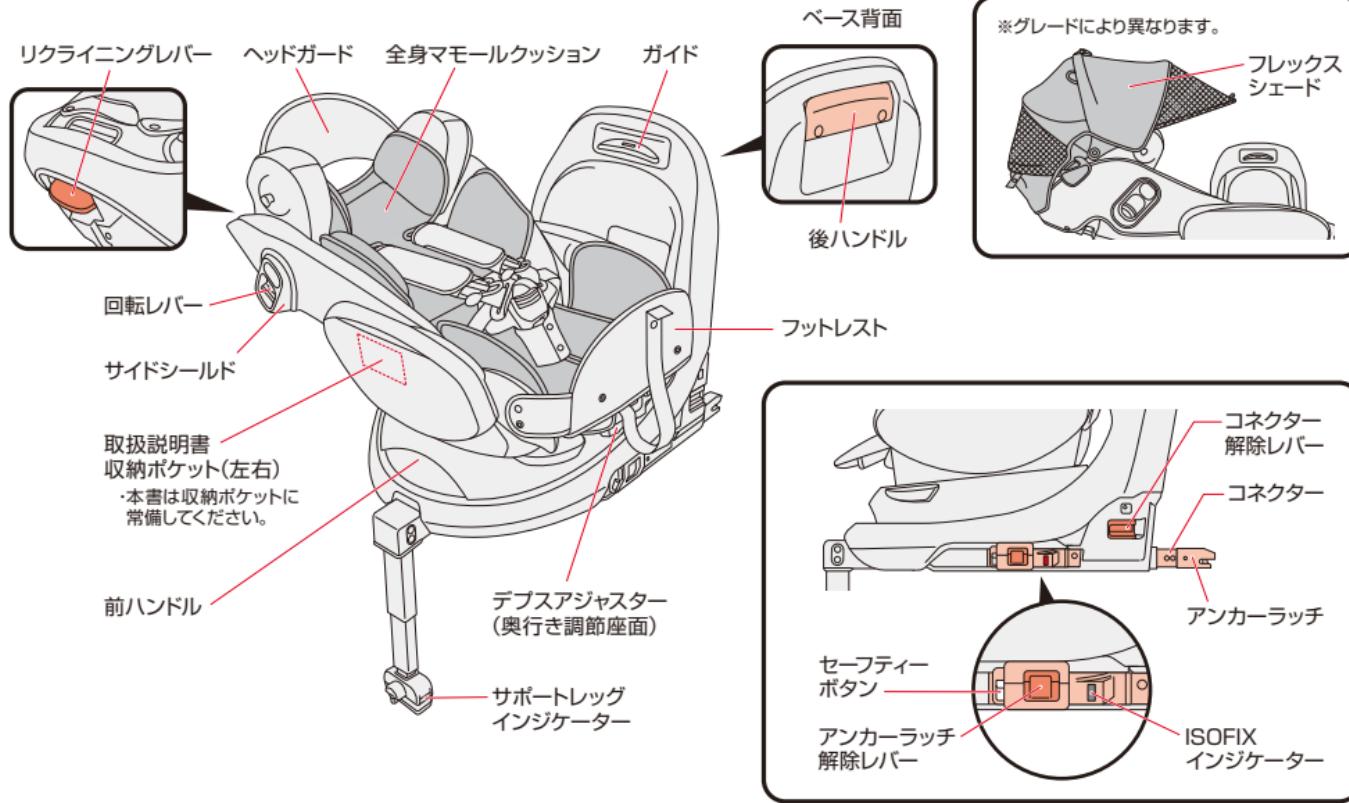
お客様情報登録



ご使用前に

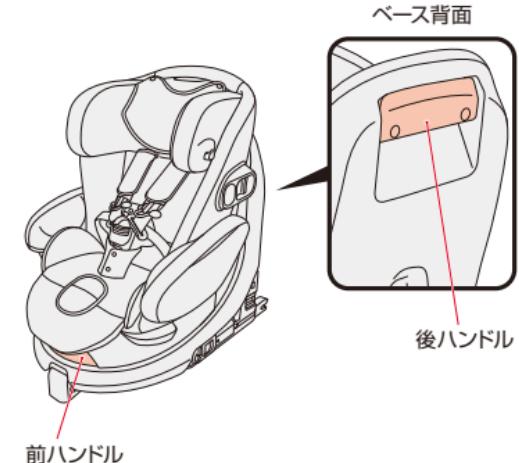


各部のなまえ



チャイルドシートの持ちかた

・前後のハンドルを両手でしっかりと持つ。



・ハンドル以外を持たない。
可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。
・サポートレッグは固定されていません。
本製品を移動する際には、サポートレッグで手、指などをはさまないように注意する。
思わぬ重傷を負う可能性があります。



・持ち運ぶ時は、周囲のものにぶつけないようにご注意ください。不意にサポートレッグが開く、伸びるなどの動作により思わず事故につながるおそれがあります。



お子さまの条件

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。

・参考年齢と参考体重は目安です。お子さまの身長に合わせてご使用ください。



危険

・条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの身長に合わせて、3通りの使いかたがあります。

身長40cm～70cmまで

〈横向きベッド〉

参考年齢：新生児^{*}～12カ月頃まで

参考体重：2.5kg～9kg未満

※ここでいう新生児とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上の乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。



警告
・お子さまの足が座面からはみ出る場合は横向きベッドで使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。(P38参照)

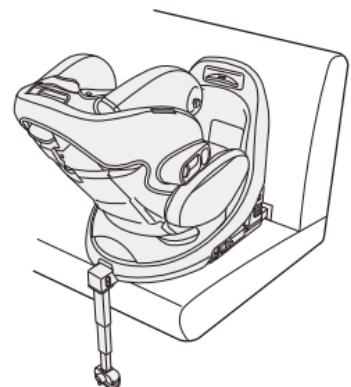


身長60cm
かつ首すわり～87cmまで

〈後向き〉

参考年齢：3カ月頃～24カ月頃まで

参考体重：7kg～13kg未満



身長76cmかつ月齢15カ月以上～100cmまで
※17.5kgを超えるお子さまには使用できません。

〈前向き〉

参考年齢：15カ月以上～4歳頃まで

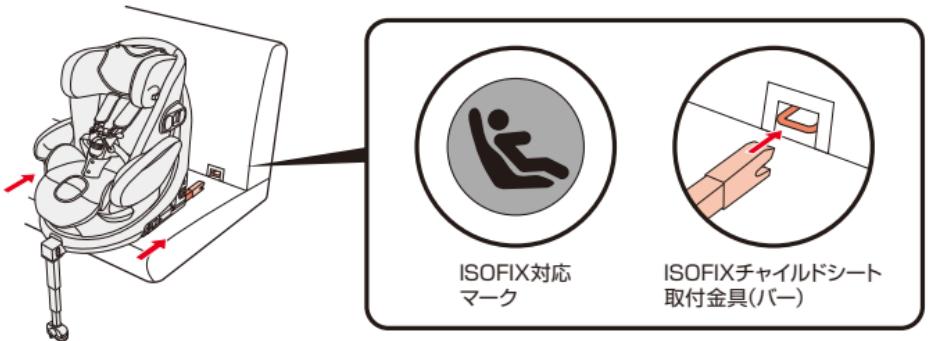
参考体重：10kg～17.5kg以下



座席の条件

・本製品は次の条件を満たす座席に取り付けできます。

車の取扱説明書に ISOFIX対応 の表記や、下記のマークがある座席。



車への取り付け時の注意

・車種適合および車の取扱説明書の確認

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。

ただし、本製品はISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

本製品は「特定車両用ISOFIXチャイルドシート」です。

車種適合で取り付けできるとなっている車に取り付けできます。

ご使用の際には、必ず車種適合表と取扱説明書をご確認ください。

車種適合につきましては、アプリカホームページ「<https://www.aprica.jp/>」で最新版がご覧になれます。

最新車種適合表



・取り付け可能な座席

取り付け方法	座席条件	使用
横向きベッド 後向き 前向き 共通	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	前座席：エアバッグを装備している	使用できません
	前座席：エアバッグのON/OFFが可能でON(作動状態)にしている※	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます

※エアバッグのON/OFFについては、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。

- ・サイドエアバッグやカーテンエアバックのみの座席には取り付けできますが、車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。
- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの座席に取り付けることをお奨めします。

：このマークのある
座席には取り付
けないでください。

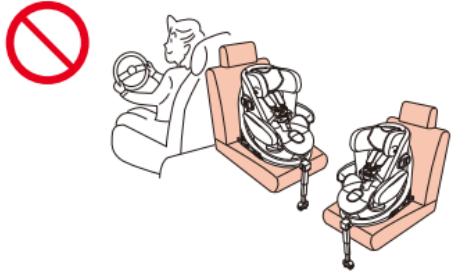


座席の条件

・取り付けできない座席

座席の位置及び装備

・進行方向に対して横向き及び後向きの座席。



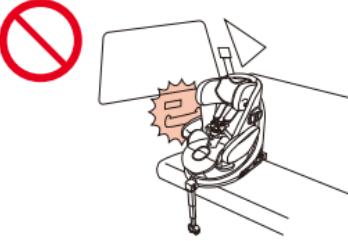
・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



・車のヘッドレストが外せず、ヘッドレストがチャイルドシートのシートバックに干渉する座席。



・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



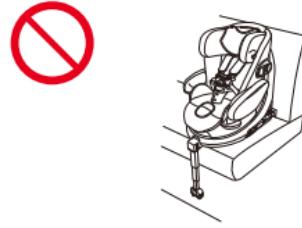
・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)
・極端に奥行きが長い座席。(ベースが車の背もたれに全く接しない座席)



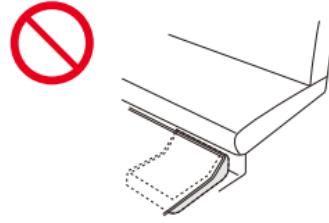
・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車など)



・サポートレッグが車の床に全く接しない座席。
・サポートレッグを一番短くしても座面に極端な隙間ができる座席。



・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。



ご使用上の注意

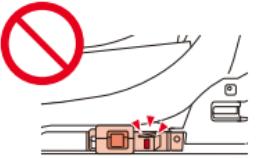


誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- ・身長40cm未満および100cmを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・17.5kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



- ・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を後向きに取り付けない。エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。



- ・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



- ・回転ロックが掛かっていない状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



- ・チャイルドシートが確実に固定できない座席で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- ・サポートレッグを収納した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



- ・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



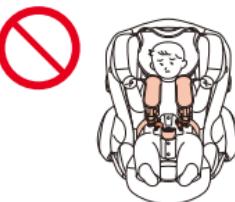
- ・サポートレッグが車のフロアから離れた状態で使用しない。及び物を挟んで使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



- ・走行中にベッド以外で横向きに使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



- ・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



- ・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。

ご使用前に

ご使用上の注意



誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまをチャイルドシートに乗せたまま一人で車内に残さない。
- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時に同乗者の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネスや腰ハーネス、股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にハーネス調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまを拘束したままフィットアジャスターの調節操作をしない。
- ・お子さまを拘束したままリクライニング操作をしない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・本製品を横向きベッドで使用する時は、車の進行方向に対して直角に使用すること。

- ・バックルに水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入りタンクが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。
- ・可動部に水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入り操作ができない場合は使用しない。
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品のネジやナット類、ハーネスを取り外したり、分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・弊社指定アクセサリー以外のものを使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。
- ・極端な厚着や防寒具の上から肩ハーネス、腰ハーネス、股ハーネスを装着しない。**ハーネスのゆるみの原因となるおそれがあります。**
寒さ対策はハーネスを装着した上から行ってください。



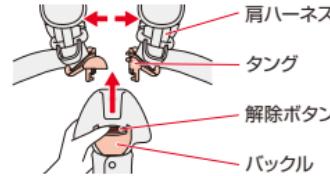
誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・リクライニングレバーと回転レバーを同時に操作しない。
- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。**本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。**
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの本体を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタンクはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。
- ・チャイルドシートを周囲のものにぶつけない。
- ・特に肌の弱いお子さまは靴下や手袋などで肌を保護してください。
生地との摩擦による擦り傷や爪が引っかかる原因となるおそれがあります。

緊急時のお子さまの降ろしかた

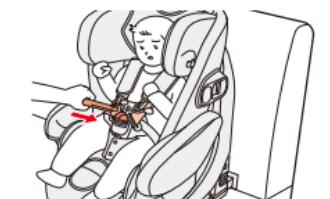
緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タンクを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタンクが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。



取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後の座席に取り付けることをお奨めします。

●車の座席形状により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP9～P12を参照してください。

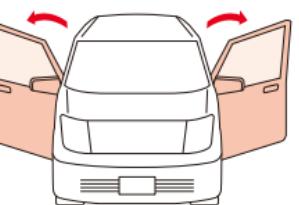
- 危険**
- ・フロントエアバッグを装備した座席に本製品を後向きに取り付けない。
エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。
 - ・チャイルドシートが確実に固定出来ない座席では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。
 - ・サポートレッグを収納した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

- 警告**
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取りつけない。

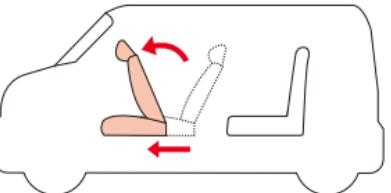
1

〈取り付け作業のスペース確保〉

- ①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



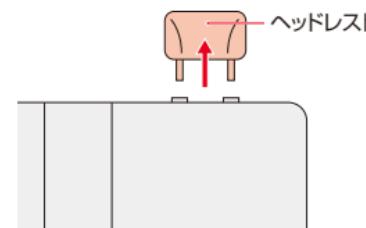
- ②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



2

〈取り付ける座席の準備〉

- ①ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
②取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。



警告

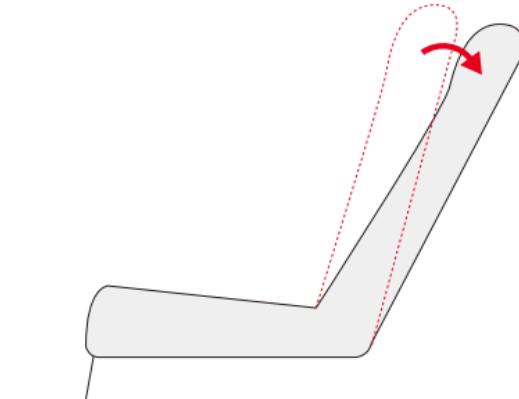
- ・車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けない。チャイルドシートが確実に固定できなくなるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- ・取り外したヘッドレストを座席などの乗車空間に放置しない。衝突などの際に重傷を負うおそれがあります。

- ③背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



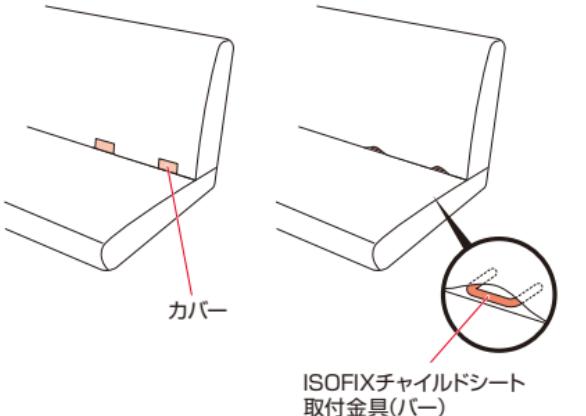
車の背もたれをリクライニングした場合、ISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)が見えなくなる場合があります。そのときはISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)が見えるところまで車の背もたれを起こしてください。およそ100°が目安です。



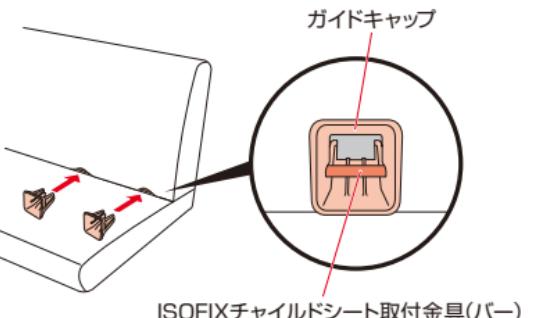
取り付けかた

- ・本製品は、横向きベッド、後向き、前向きの3通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは共通です。
- ・本書では左後部座席での取り付けかたを説明しています。

1 ISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)のカバーが装備されている場合は、カバーを外す。(左右)

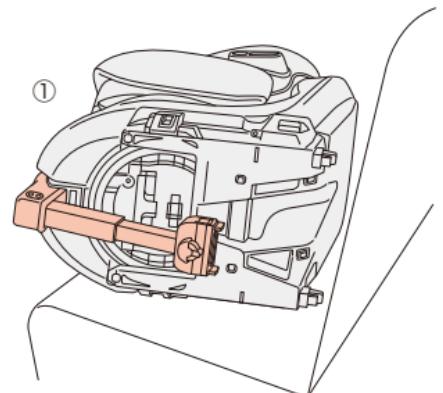


2 ISOFIXバーが車のシートにかくれて見えにくい場合は、ガイドキャップをISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)に差し込み取り付ける。(左右)

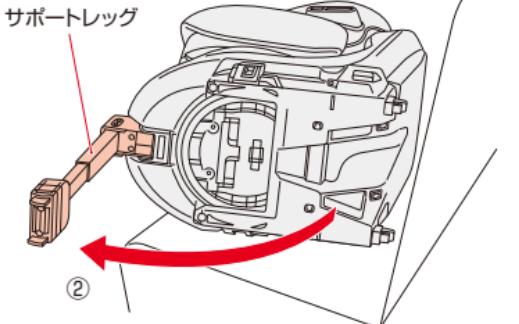


アドバイス
車によってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにチャイルドシートを取り付けてください。

3 〈サポートレッグを起こす〉
①作業するスペースを充分に確保し、本体を横に寝かせる。



- ②サポートレッグを起こす。
- ③サポートレッグが固定されていることを確認する。



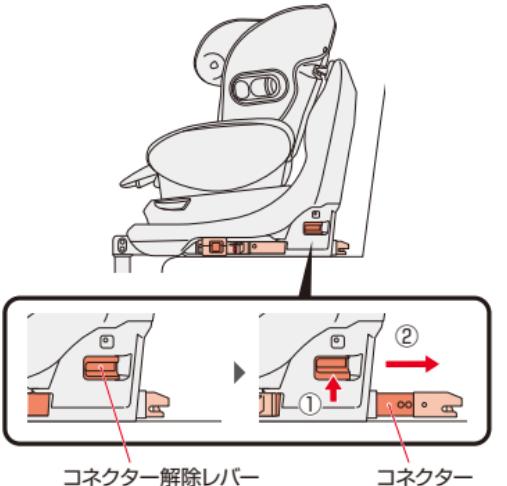
警告
・サポートレッグ操作時は、手、指などを挟まないように注意する。思わぬ重傷を負う可能性があります。

アドバイス
チャイルドシートを取り付ける座席が革仕様の場合は、別売りの「シート保護マット」のご使用を推奨します。直接取り付けると革をいためるおそれがあります。なお、「シート保護マット」は革仕様以外の座席にもご使用いただけます。

取り付けかた

4

- ①コネクター解除レバーを引き上げながら、
- ②コネクターを最後まで手で後方に引き出す。(左右)

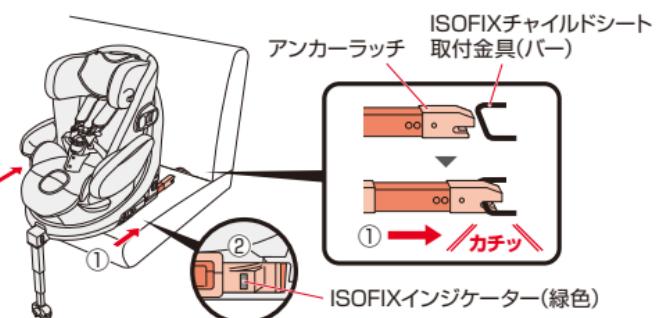


警告

- ・取り付け時にお子さまをそばに近づけない。
思わぬ重傷を負う可能性があります。

5

- ①左右のISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)に「カチッ」と音がするまで、ベース(アンカーラッチ)を左右同時にまっすぐ押し込む。
- ②左右のISOFIXインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。
- ③左右のコネクター解除レバーを引き上げながら車の座席の背もたれに接するまでベースをまっすぐ押し込む。
- ④取り付ける前の準備(P18参照)で背もたれを倒した場合は、背もたれをベースに接するまで起こす。



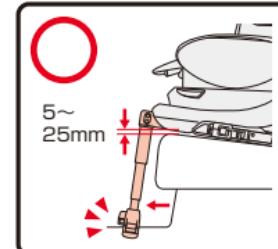
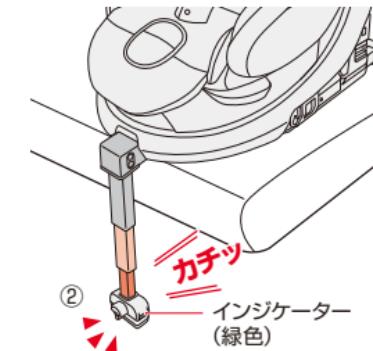
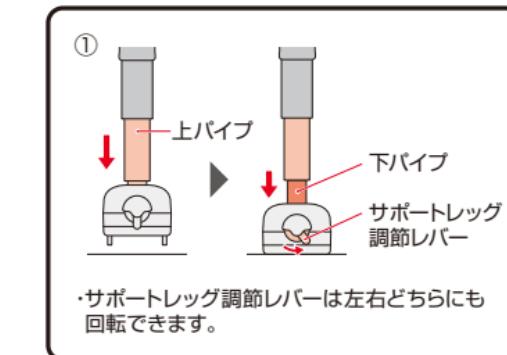
アドバイス

- ベースが押し込みにくい場合は、
 - ・サポートレッグ調節レバーを回転させ、サポートレッグを縮めて押し込んでください。
 - ・ベース前部を持ち上げベースの角度を調節しながら押し込んでください。



6

- ①ベース前方と車のシートの間に5~25mmのすき間が出来るようにサポートレッグの長さを調節する。
 - ・上パイプ：自重で自動的に伸びます。縮める場合はサポートレッグ調節レバーを回転させロックを解除する。
 - ・下パイプ：サポートレッグ調節レバーを回転させロックを解除し長さを調節する。
※下パイプは上パイプが最も伸びた状態で車のフロアに接しない場合に長さを調節する。
- ②サポートレッグがしっかりと固定され、インジケーターが「緑色」であることを確認する。(左右)



- ・上パイプを縮める場合は下パイプを一番短くしてください。下パイプが一番短い状態でないと上パイプは縮まりません。

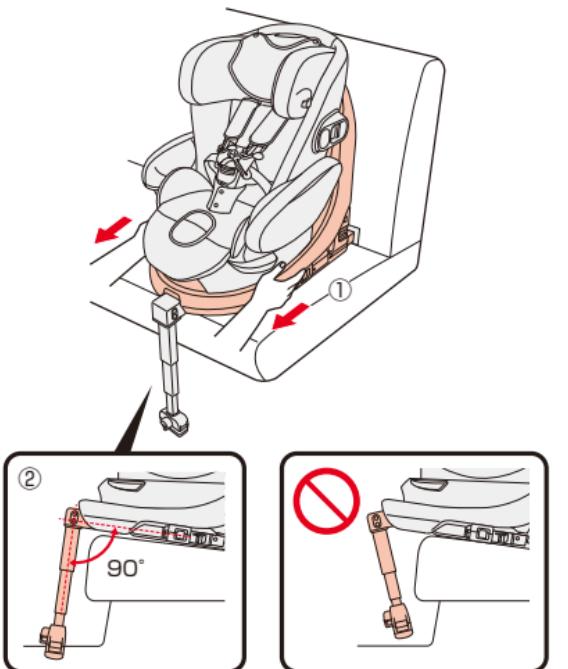
警告

- ・サポートレッグがしっかりと固定されていること。衝突の際に充分性能を発揮できません。
- ・サポートレッグが車のフロアから離れていないこと。衝突の際に充分性能を発揮できません。

取り付けかた

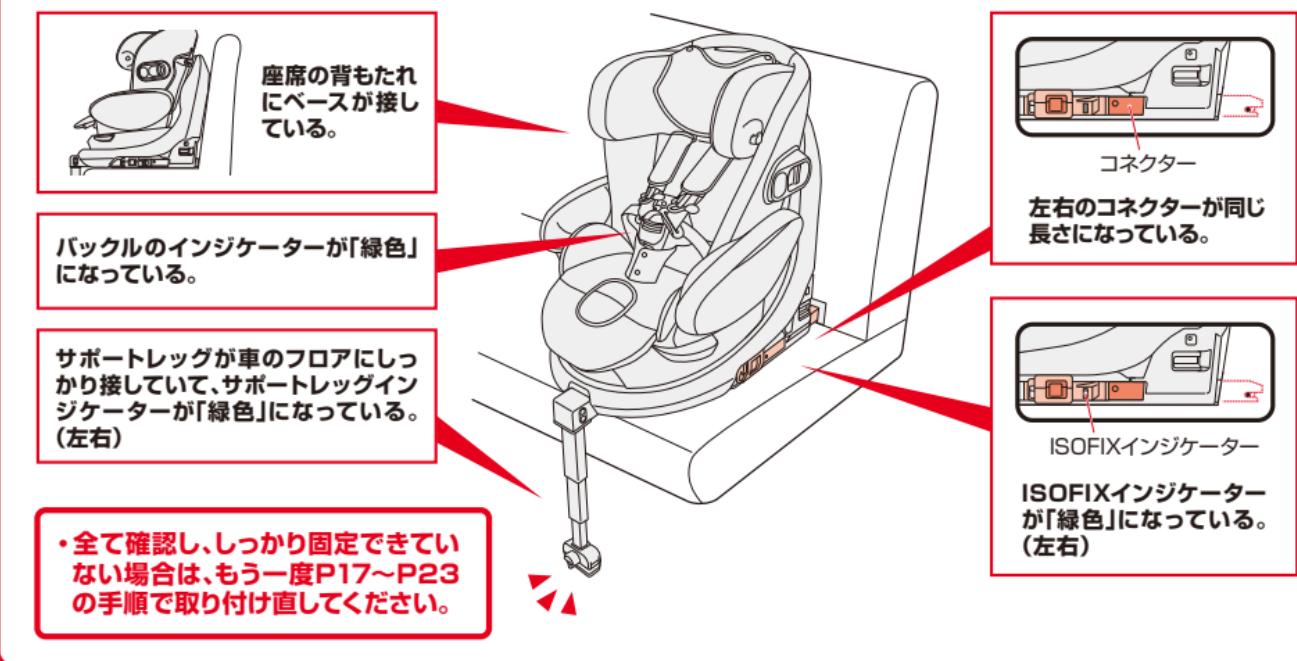
7

- ①ベースを手前に引き、動かないことを確認する。
- ②ベースとサポートレッグが90°になるように調節する。



取り付け後の確認／日常点検

- ・取り付け後やお子さまを乗せる前には毎回チャイルドシートがしっかりと固定されていることを確認してください。
しっかりと固定されていないと、衝突などの際に充分性能を発揮できません。

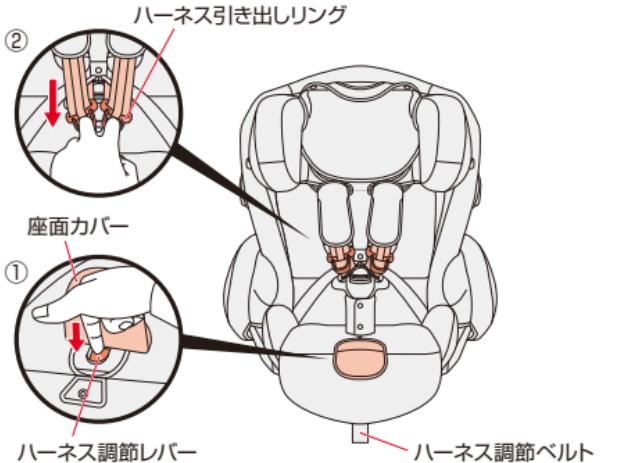


肩ハーネス調節のしかた

・肩ハーネスがねじれていなことを確認のうえ調節してください。

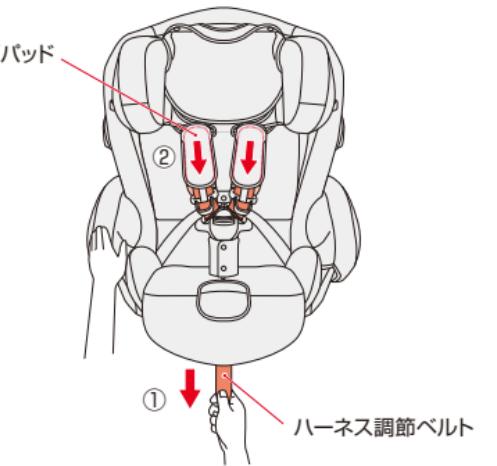
〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ① 座面カバーをめくり、ハーネス調節レバーを押す。
・調節レバーを押すときに調節ベルトを手で押さえつけないでください。
- ② ハーネス調節レバーを押したまま、左右のハーネス引き出しリングを手前に引き、ゆるめる。



〈肩ハーネスを締める〉

- ① ハーネス調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ② 肩パッドが奥に入り込んだ場合は引き出す。



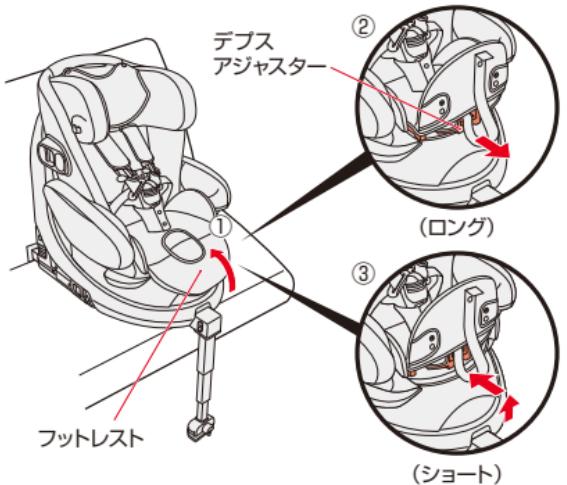
デプスマジャスター(奥行き調節座面)の使いかた

・横向きベッド、後向きはデプスマジャスター(奥行き調節座面)をショート、前向きはお子さまの成長に合わせてロングに調節してください。

・お子さまが乗っていない状態で調節してください。

〈調節のしかた〉

- ① フットレストを起こす。
- ② デプスマジャスターを引き出し、ロングにする。
- ③ デプスマジャスター前側を持ち上げた状態で押し込み、ショートにする。



・前向きご使用時、座面に深く座った状態で座面先端がふくらみに強く当たる場合はショートでのご使用をおすすめします。

・ロングへの切り替えは3歳くらいが目安です。

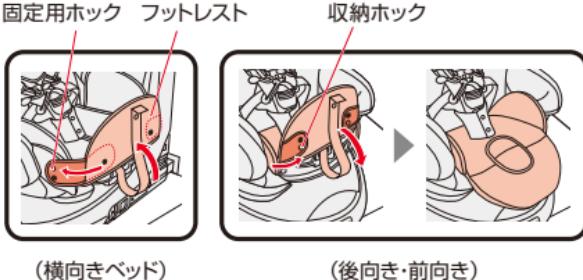


・お子さまを乗せたまま調節しない。けがをするおそれがあります。

・デプスマジャスター前側を持ち上げずに無理やり押し込まない。けがをするおそれがあります。

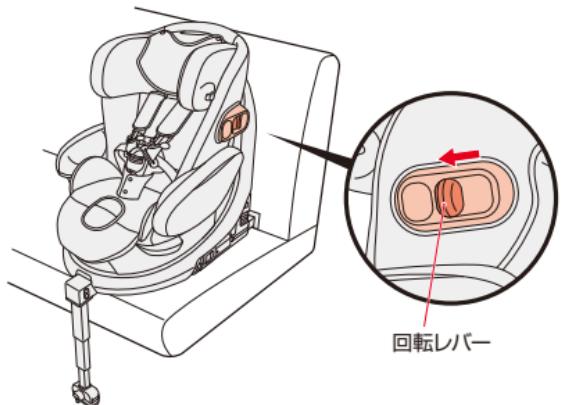
〈フットレストの使いかた〉

- ① 横向きベッド時はフットレストを起こし、収納ホックを外し、固定用ホックにとめる。
- ② 後向き・前向き時は固定用ホックを外し、収納ホックにとめ、フットレストを寝かす。



回転のしかた

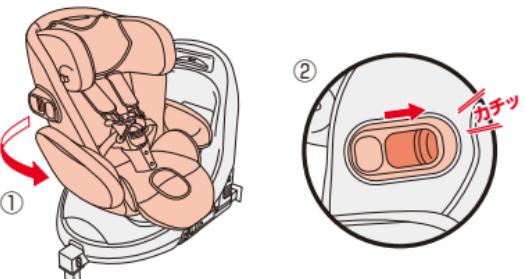
1 左右いずれかの回転レバーを引く。



アドバイス レバー操作が重く感じる場合は両方のレバーを同時に操作してください。

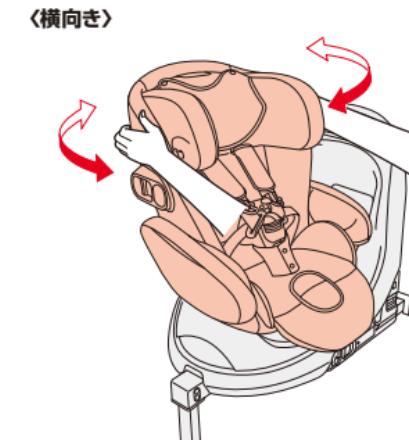
警告 回転操作時は、可動部に手や指、お子さまの足などを近づけない。手や指を挟まれ重傷を負うことがあります。

2 ①回転レバーを引きながらシート部を回転させ、動き始めたら回転レバーから手を離し、シート部を「横向き」にする。
②「カチッ」と音がして、回転レバーが戻り、シート部がロックされます。



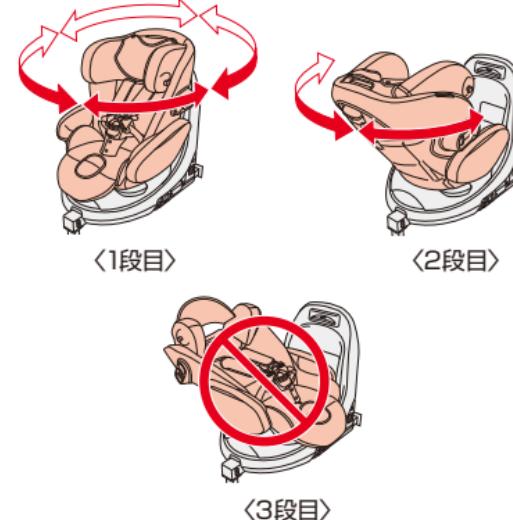
注意 •回転操作時にシートバックをご自身のほうへ強く引き寄せながら回転させないでください。故障の原因になります。
 •回転レバーとリクライニングレバーを同時に操作しないでください。故障の原因になります。

3 シート部を左右にゆすり、ロックされていることを確認する。



警告 •回転レバーが戻らずシート部がロックされていない状態で使用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。
•車の走行中に回転操作を行わない。

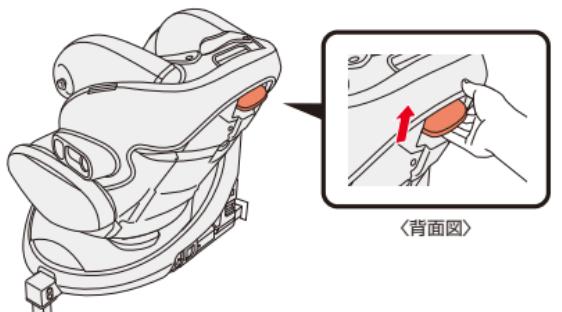
〈リクライニングの段数による回転できる範囲〉



各部の使いかた

リクライニングのしかた(横向きベッド・後向きのみ)

1 リクライニングレバーを引き上げる。



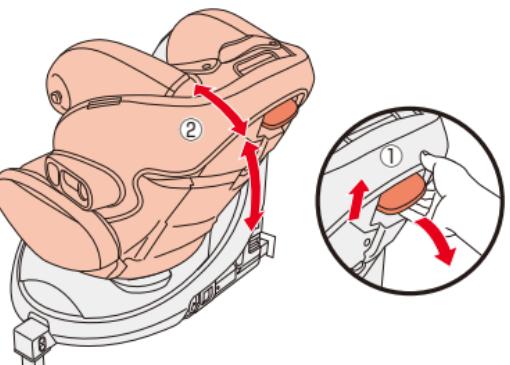
警告

・お子さまを拘束したままリクライニング操作をしない。
肩ハーネスが締まり重傷を負うおそれがあります。

注意

・回転レバーとリクライニングレバーを同時に操作しないでください。
故障の原因になります。

2 ①リクライニングレバーを引き上げたまま背もたれを倒す。
②動き始めたらリクライニングレバーから手を離して倒す。



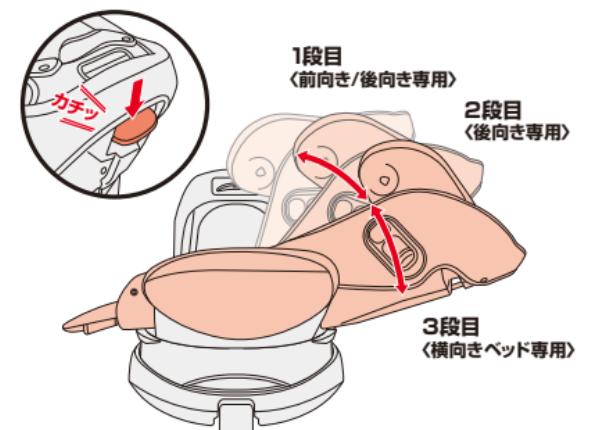
警告

・リクライニング操作時は、可動部や座面の隙間に手や指などを近づけない。手や指を挟まれ重傷を負うおそれがあります。

3 背もたれが2段(後向き)、3段(横向きベッド)になると、リクライニングレバーが戻りロックされます。

アドバイス

・リクライニングレバーを離さないとロックされません。
・2段目から1段目へは、上方方向に引き上げるようにするとスムーズに操作できます。



警告

・車の走行中にリクライニング操作をしない。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

4 ①リクライニングレバーが戻り、赤いインジケーターが見えていないことを確認する。
②シート部を上下にゆすり、ロックされていることを確認する。

警告

・リクライニングレバーが戻らずシート部がロックされていない状態で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。



・右図の赤いインジケーターが見えている場合はレバーが戻っていない状態です。
シート部をゆすり、レバーを戻し、ロックしてください。

アドバイス

リクライニングが起こしにくい場合は、肩ハーネスをゆるめてください。(P25参照)



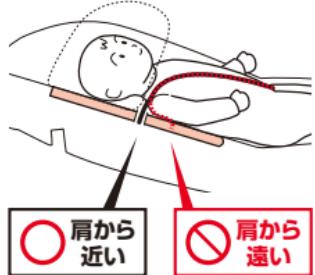
ハーネス位置

- ・肩ハーネス位置(フィットアジャスター部の高さ)は、お子さまの肩の高さに合わせて5段階で調節してください。
- ・股ハーネス位置は、各ポジションに合わせて調節してください。

■横向きベッド使用時

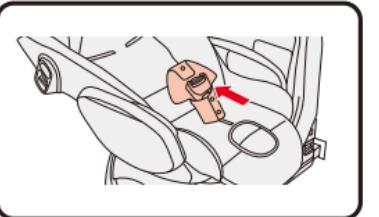
〈肩ハーネスの位置〉

- ・お子さまの肩に近い肩ハーネス位置を使用する。



〈股ハーネスの位置〉

- ・股ハーネスを最も後に下げた位置で使用する。

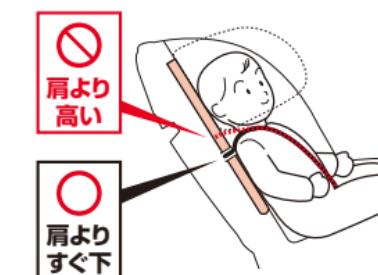


・肩ハーネス位置は、お子さまの肩から遠い位置で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

■後向き使用時

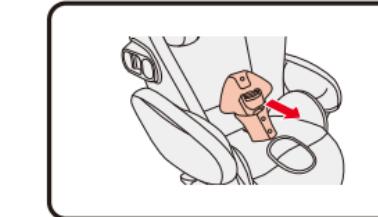
〈肩ハーネスの位置〉

- ・お子さまの肩よりすぐ下の肩ハーネス位置を使用する。



〈股ハーネスの位置〉

- ・股ハーネスを最も前に出した位置で使用する。

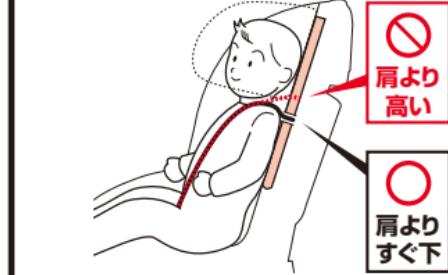


・肩ハーネス位置は、お子さまの肩より高い位置で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

■前向き使用時

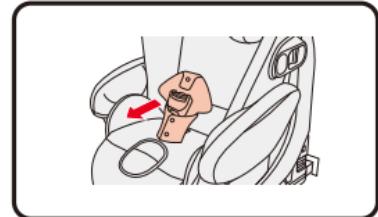
〈肩ハーネスの位置〉

- ・お子さまの肩よりすぐ下の肩ハーネス位置を使用する。



〈股ハーネスの位置〉

- ・股ハーネスを最も前に出した位置で使用する。

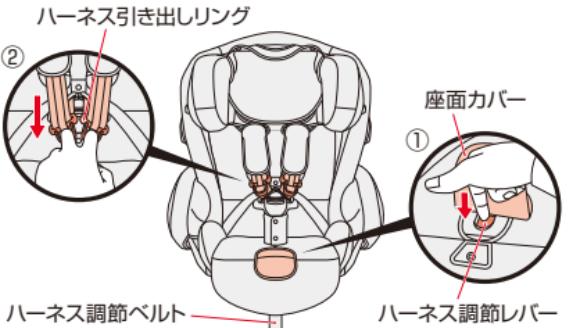


・肩ハーネス位置は、お子さまの肩より高い位置で使用しない。
衝突の際に充分性能を発揮できません。

肩ハーネス位置(フィットアジャスター部の高さ)の調節のしかた

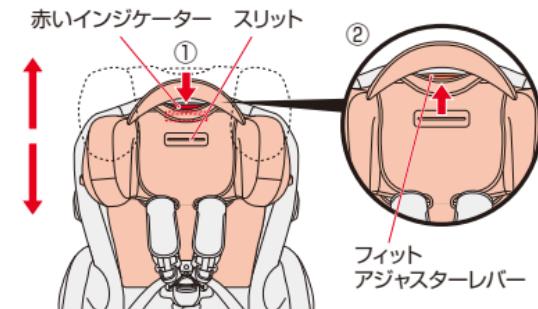
- ・肩ハーネス位置(フィットアジャスター部の高さ)は、5段階に調節できます。
- ・肩ハーネスがねじれていなことを確認のうえ調節してください。

- 1**
- ①座面カバーをめくり、ハーネス調節レバーを押す。
・調節レバーを押すときに調節ベルトを手で押さえつけないでください。
 - ②ハーネス調節レバーを押したまま、左右のハーネス引き出しリングを手前に引き、ゆるめる。



警告
・お子さまを拘束したまま肩ハーネス位置を調節しない。
肩ハーネスが縮まり重傷を負うおそれがあります。

- 2**
- ①フィットアジャスターを押し、フィットアジャスター部の高さを調節する。
 - ②フィットアジャスターを戻り、赤いインジケーターが見えないことを確認する。



アドバイス
スリットに親指を入れ操作すると、フィットアジャスター レバーを押しやすくなります。

パッドの使いかた

- ・お子さまの発育状況により下表を参考に使用してください。
- ・グレードによりパッドが異なります。(P3参照)

	ヘッドガード	肩パッドカバー	全身マモールクッション
○：必ず取り付けてください。			
○：取り外し可能です。			
×：必ず取り外してください。			
横向きベッド	起こす	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
後向き(身長75cm以下)	起こす	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
後向き(身長75cmを超え87cmまで)	倒す	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
前向き	倒す	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

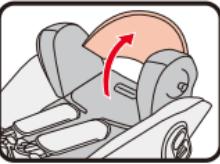
警告
・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
・取り外したパッド類はトランクルームやカーゴルームに保管し、座席などの乗車空間に放置しない。
思わぬ重傷を負う可能性があります。

注意
・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
・パッド類を本書に記載されている以外の目的で使用しないでください。

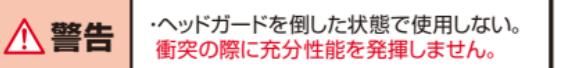
パッドの使いかた

1 <ヘッドガードの使いかた>

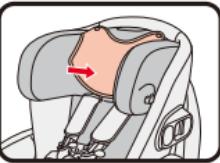
- ・ヘッドガードを起こして使用するとき



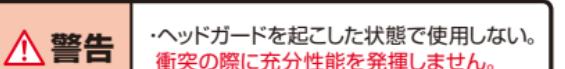
ヘッドガードを引き上げる。
・横向きベッド
・後向き
(全身マモールクッション取り付け時)



- ・ヘッドガードを倒して使用するとき

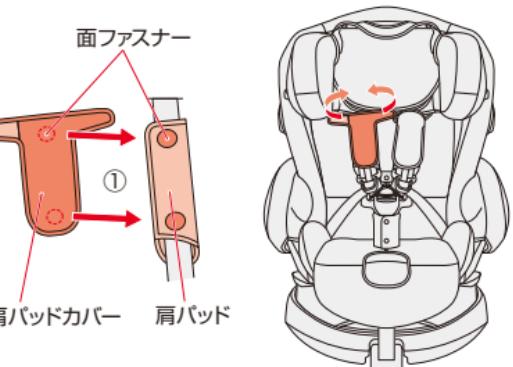


ヘッドガードを引き下げる。
・前向き
・後向き
(全身マモールクッション取り外し時)



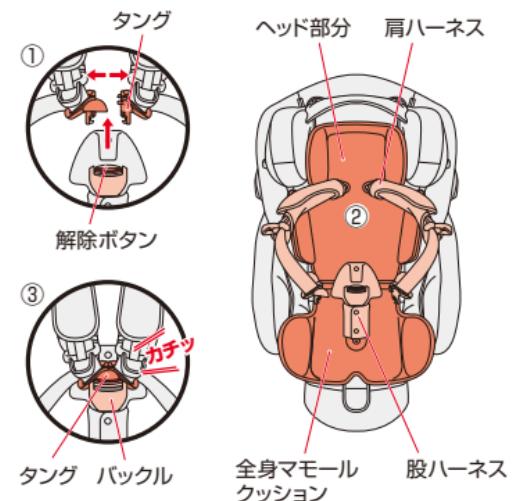
2 <肩パッドカバーの取り付け>(一部グレードのみ)

- ①肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせる。
- ②肩パッドカバーを巻き付け、面ファスナーでとめる。
- ③取り付け後は肩パッドカバーを引っ張り確実に取り付けられていることを確認する。

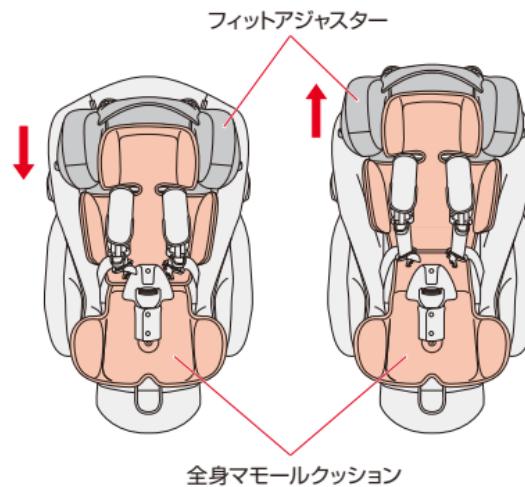


3 <全身マモールクッションの取り付け>

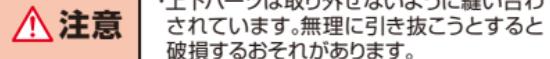
- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②全身マモールクッションのヘッド部分を肩ハーネスに合わせてのせ、股ハーネスを通す。
- ③タングをバックルに差し込む。



※一部グレードのみ、フィットアジャスター部の高さに連動し、全身マモールクッションが伸縮します。



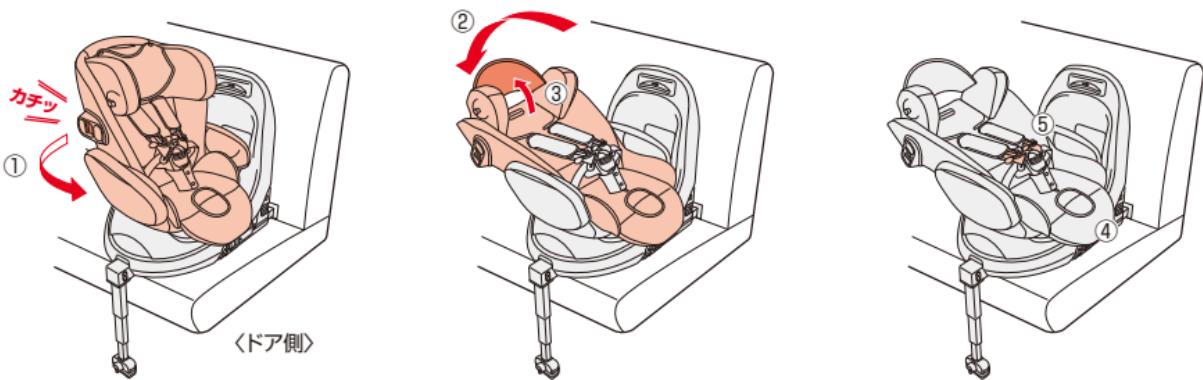
各部の使いかた



横向きベッドのお子さまの乗せかた

〈身長40cm~70cmまで〉

- 1**
- シート部正面をドア側に回転させる。(P27参照)
 - 背もたれを3段目(横向きベッド専用)にする。(P29参照)
 - ヘッドガードを起こす。(P35参照)



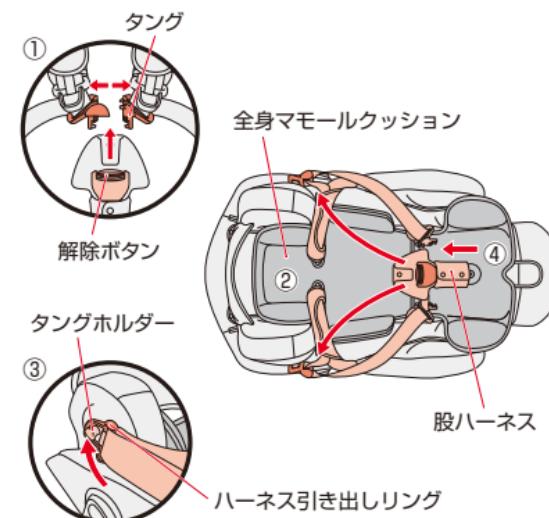
警告

- 回転レバー、リクライニングレバーが元の位置に戻らずシート部が固定されていない状態で使用しない。衝突の際に十分性能を発揮できません。
- リクライニング、回転操作時は、可動部にお子さまの手や指などを近づけないこと。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

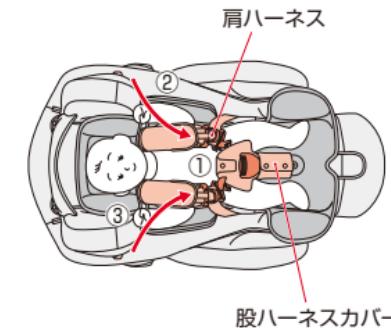


- デプスマジャスター(奥行調節座面)をショートにする。(P26参照)
- 肩ハーネスをゆるめる。(P25参照)

- 2**
- タングを外す。
 - 全身マモールクッションを取り付ける。(P36参照)※開梱時はセットされています。
 - 肩ハーネスがねじれないようにハーネス引き出しリングをタングホルダーにかける。
 - 股ハーネスを一番後ろまで下げ、座面先端側に倒す。



- 3**
- お子さまの股間と股ハーネスカバーが接するよう中央に寝かせる。
 - タングホルダーからハーネス引き出しリングを外し、お子さまの肩に肩ハーネスをかける。
 - お子さまの肩に近い肩ハーネス位置に調節する。(P31参照)



警告

- お子さまの足が座面の先端から出る場合は横向きベッドで使用しない。ドアなどに足があたり、重傷を負うおそれがあります。

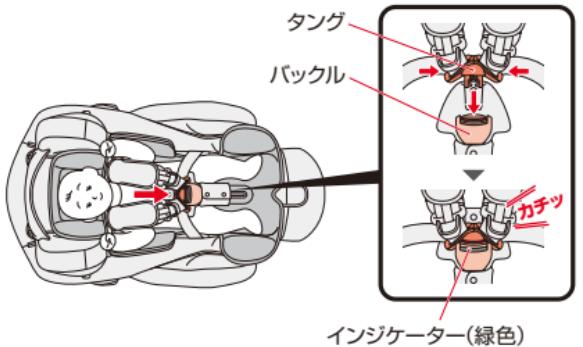


座面の先端

横向きベッドのお子さまの乗せかた

〈身長40cm~70cmまで〉

4 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込み、バックルのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



危険

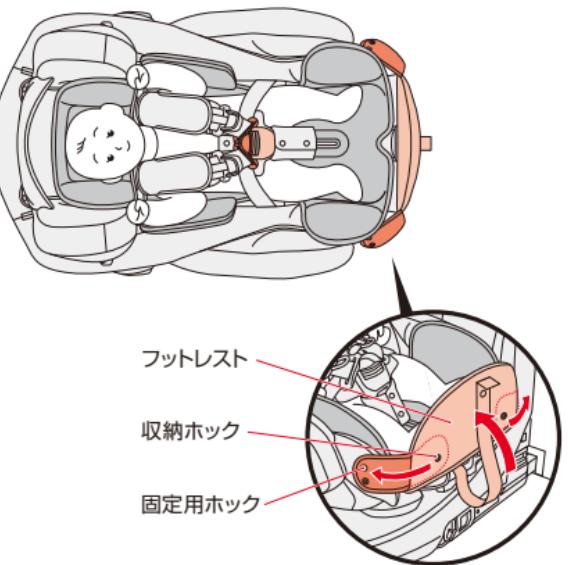
- ・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がせず、インジケーターが「緑色」に変わらない場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



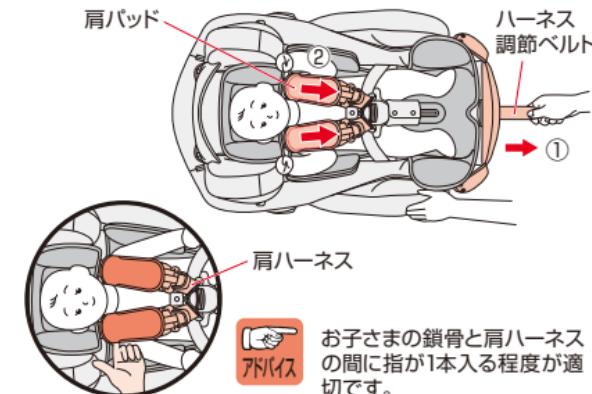
警告

- ・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。**けがをするおそれがあります。**
- ・バックルに水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入りタングが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

5 フットレストを起こし、収納ホックを外し、固定用ホックにとめる。



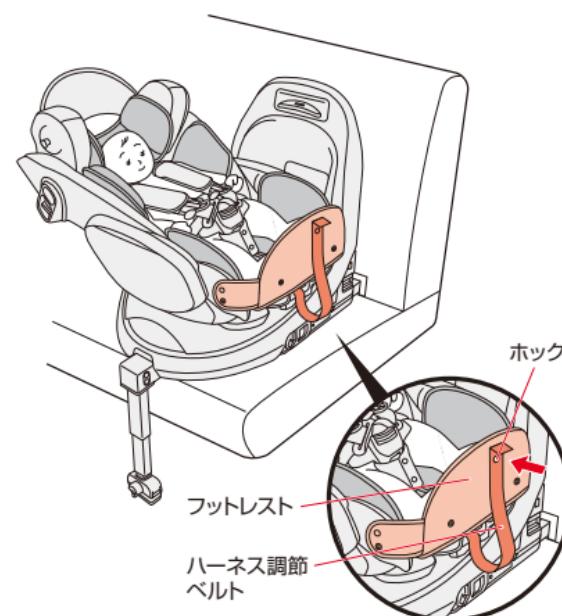
6 ①ハーネス調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
②肩パッドが奥に入り込んだ場合は引き出す。



警告

- ・肩ハーネスが肩にかかっていない状態で使用しない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。**衝突の際に充分性能を発揮できません。**

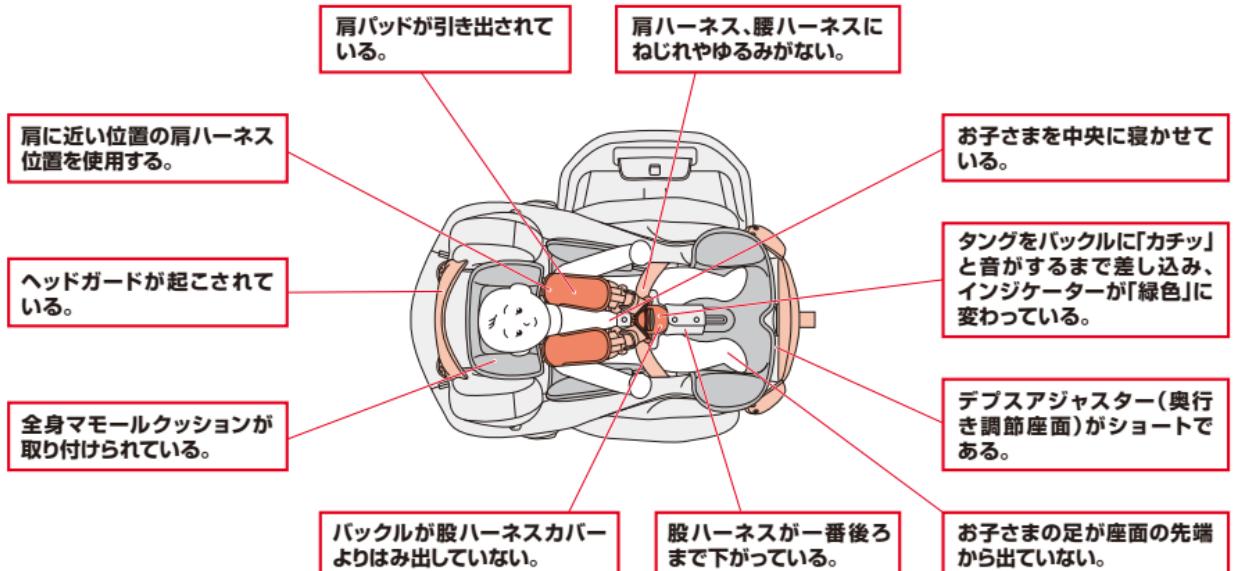
7 ハーネス調節ベルトのホックをフットレストにとめる。



横向きベッド使用時の確認

〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

・正しくできていない場合は、もう一度P37～P40の手順をやり直してください。



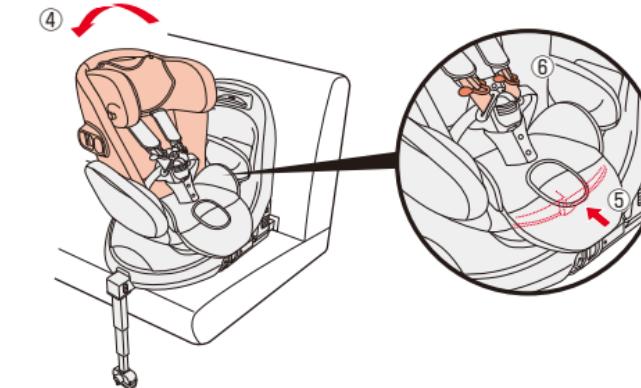
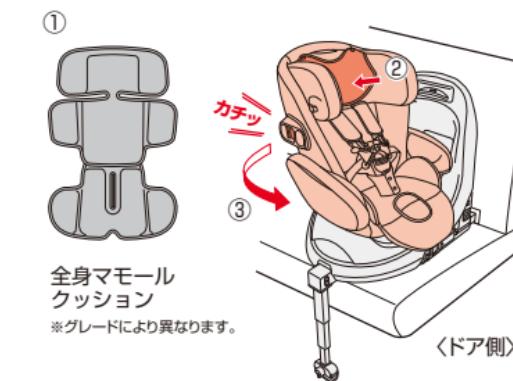
後向きのお子さまの乗せかた

〈身長60cmかつ首すわり～87cmまで〉

1

- ①全身マモールクッションを取り外す。(P36参照)
- ②ヘッドガードを倒す。(P35参照)

※お子さまの身長が75cm以下の場合は全身マモールクッションを使用し、ヘッドガードを起こす。



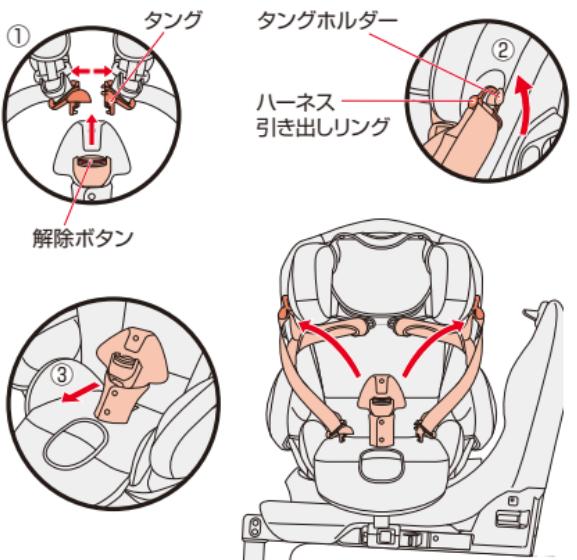
・リクライニング、回転操作時は、可動部にお子さまの手、指、足などを近づけない。
可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

後向き

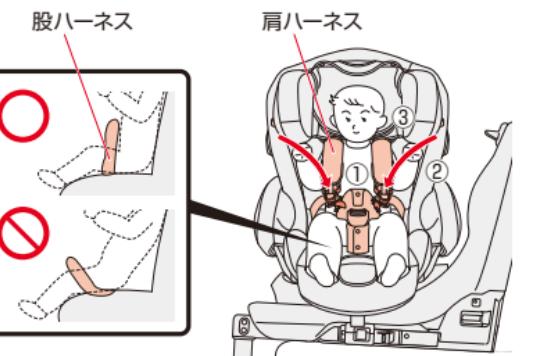
後向きのお子さまの乗せかた

〈身長60cmかつ首すわり～87cmまで〉

- 2**
- ①タングを外す。
 - ②肩ハーネスがねじれないようにハーネス引き出しリングをタングホルダーにかける。
 - ③股ハーネスを一番前まで出す。



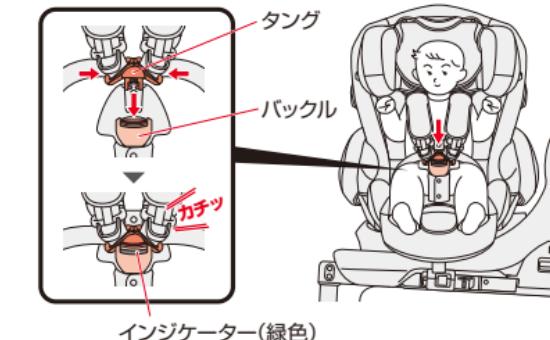
- 3**
- ①お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。
 - ②左右のハーネス引き出しリングをタングホルダーから外し、お子さまの肩に肩ハーネスをかける。
 - ③お子さまの肩よりすぐ下の股ハーネス位置に調節する。(P31参照)



アドバイス

座面カバーをめくり股ハーネスカバー先端のホックを股ハーネス固定用ホックにとめると、股ハーネスが固定されお子さまを座らせやすくなります。お子さまを座らせたあとは、股ハーネスカバー先端のホックを元の状態に戻してください。(一部グレードのみ)

- 4**
- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込み、バックルのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



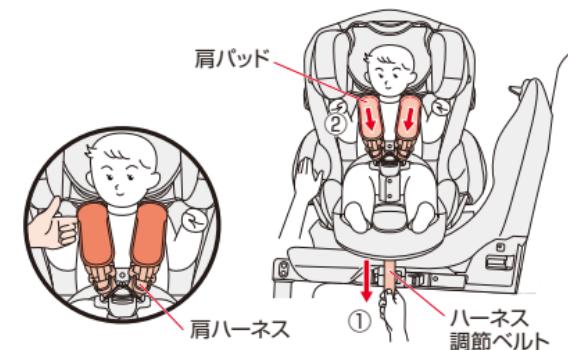
危険

・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がせず、インジケーターが「緑色」に変わらない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告

・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。**けがをするおそれがあります。**
・バックルに水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入りタングが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

- 5**
- ①ハーネス調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
 - ②肩パッドが奥に入り込んだ場合は引き出す。



アドバイス

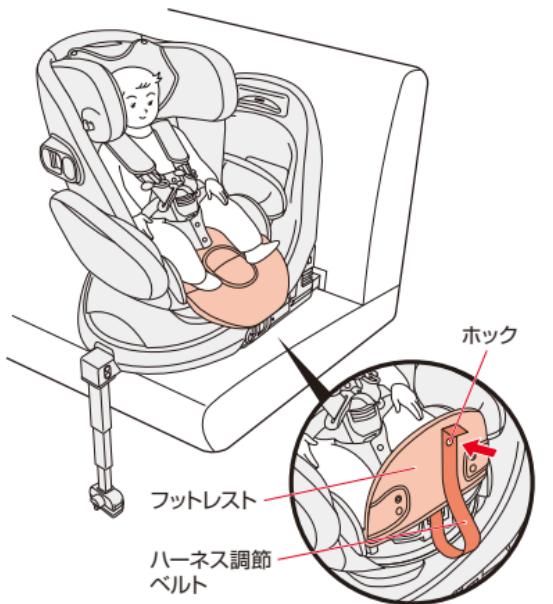
お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

警告

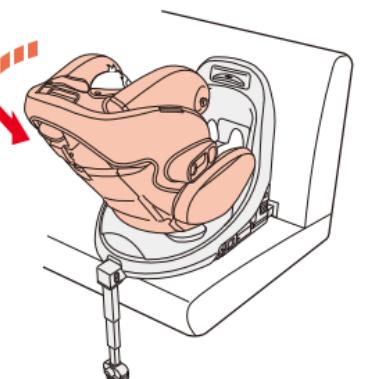
・肩ハーネスが肩にかかるてない状態で使用しない。
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。**衝突の際に充分性能を発揮できません。**

後向きのお子さまの乗せかた <身長60cmかつ首すわり~87cmまで>

6 ハーネス調節ベルトのホックをフットレストのホックにとめる。



7 シート部を後向きに回転させる。(P27参照)



警告

- ・回転操作時は、可動部にお子さまの手、指、足などを近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。
- ・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突の際に充分性能を発揮できません。
- ・お子さまを乗せた状態で回転させる時は、お子さまの手足を本体とベースの間などに近づけない。可動部で挟まれ重傷を負うおそれがあります。

後向き使用時の確認 <お子さまを乗せた後に必ず確認する。>

・正しくできていない場合は、もう一度P42~P45の手順をやり直してください。

肩よりすぐ下の肩ハーネス位置に調節している。

肩パッドが引き出されている。

肩ハーネス、腰ハーネスにねじれやゆるみがない。

お子さまの骨盤を拘束するよう、腰ハーネスを低く下げている。

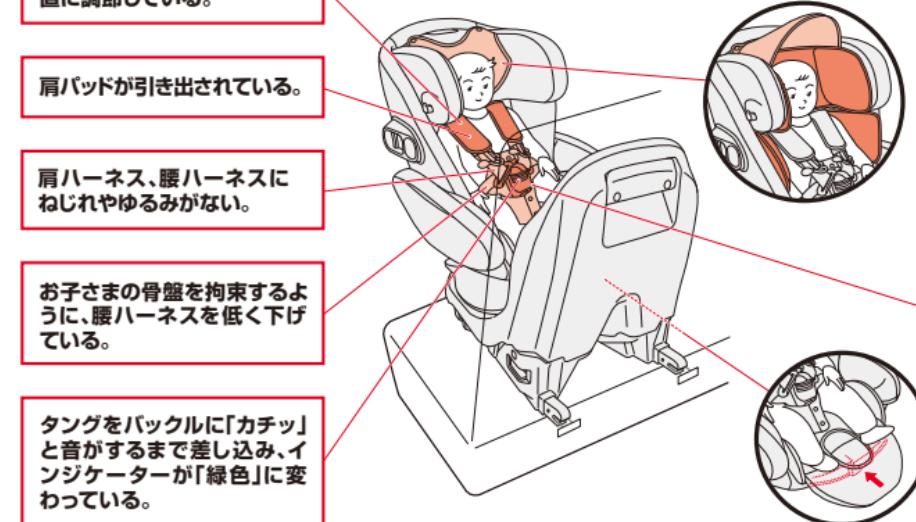
タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、インジケーターが「緑色」に変わっている。

ヘッドガード
お子さまの身長が75cm以下の場合:
起こされている。
お子さまの身長が75cmを超える場合:
倒されている。

全身マモールクッション
お子さまの身長が75cm以下の場合:
取り付けられている。
お子さまの身長が75cmを超える場合:
取り外されている。

バックルが股ハーネスカバーよりはみ出していない。

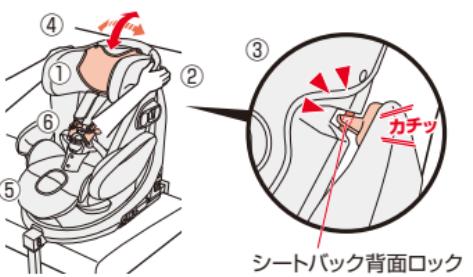
デブスマジャスター(奥行き調節座面)がショートになっている。



前向きのお子さまの乗せかた

〈身長76cmかつ月齢15ヶ月以上～100cmまで〉

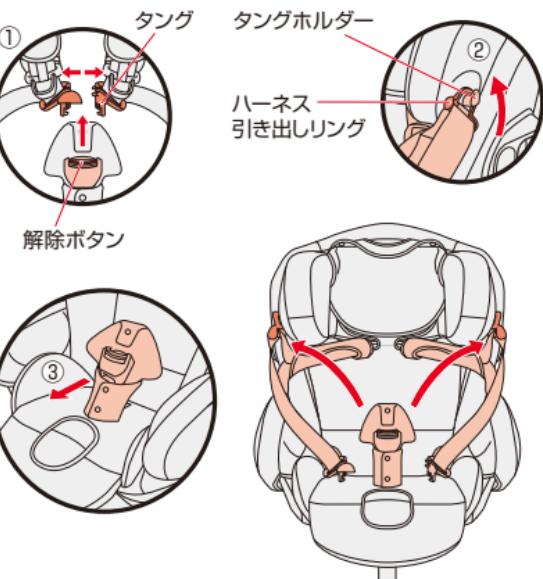
- 1 ①ヘッドガードを倒す。(P35参照)
- ②背もたれを1段目(前向き専用)にする。(P29参照)
- ③シート部を前向きに回転させ(P27参照)、シートバック背面ロックがベース側のガイドを通り、「カチッ」とロックされたことを確認する。
- ④本体上部を前後左右に動かし、本体が固定されていることを確認する。
- ⑤デブスマジスターをお子さまの成長に合わせて調節する。(P26参照)
- ⑥肩ハーネスをゆるめる。(P25参照)



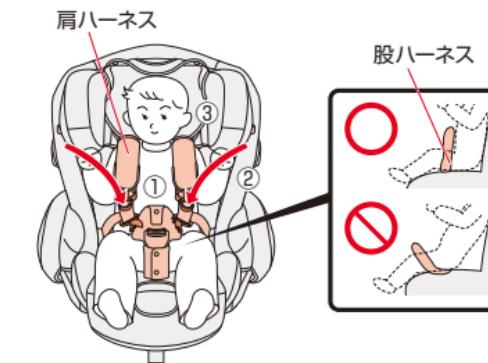
警告

- ・リクライニング、回転操作時は、可動部にお子さまの手、指、足などを近付けない。可動部で挟まれ重傷を負うことがあります。
- ・デブスマジスター前側を持ち上げずに無理やり押し込まない。けがをすることがあります。

- 2 ①タングを外す。
- ②肩ハーネスがねじれないようにハーネス引き出しリングをタングホルダーにかける。
- ③股ハーネスを一番前まで出す。



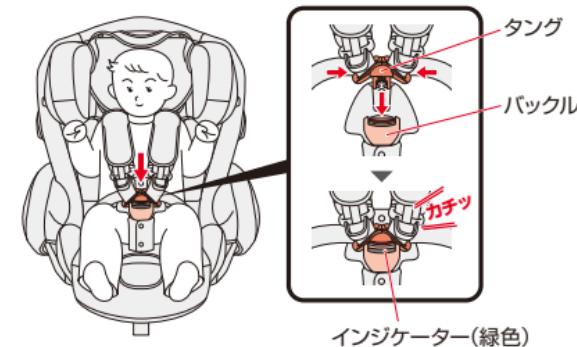
- 3 ①お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。
- ②左右のハーネス引き出しリングをタングホルダーから外し、お子さまの肩に肩ハーネスをかける。
- ③お子さまの肩よりすぐ下の肩ハーネス位置に調整する。(P32参照)



アドバイス

座面カバーをめくり股ハーネスカバー先端のホックを股ハーネス固定用ホックにとめると、股ハーネスが固定されお子さまを座らせやすくなります。
お子さまを座らせたあとは、股ハーネスカバー先端のホックを元の状態に戻してください。(一部グレードのみ)

- 4 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込み、バックルのインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



危険

- ・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がせず、インジケーターが「緑色」に変わらない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

警告

- ・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。けがをすることがあります。
- ・バックルに水やジュース、泥水、食べこぼし、ゴミなどが入りタングが差し込みにくいなどの異常を感じた場合は本製品を使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

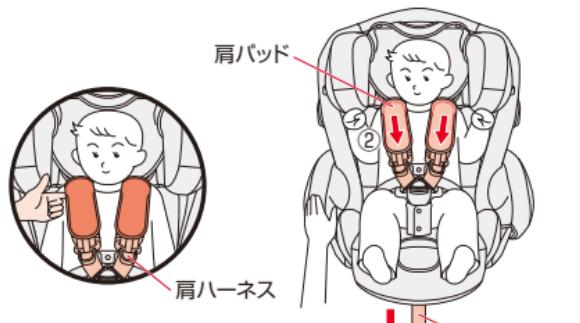
前
向
き

前向きのお子さまの乗せかた

〈身長76cmかつ月齢15ヶ月以上～100cmまで〉

5

- ①ハーネス調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②肩パッドが奥に入り込んだ場合は引き出す。



アドバイス

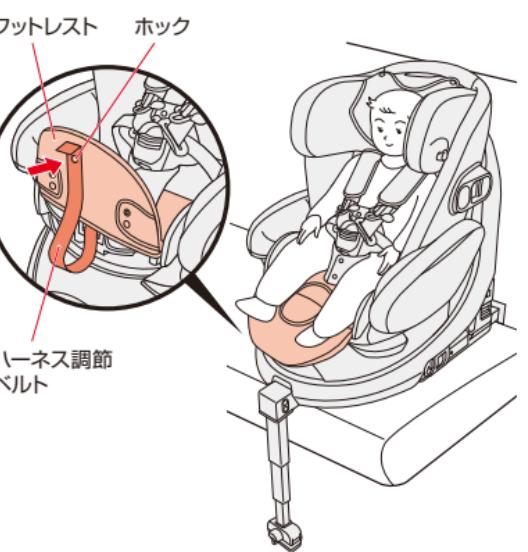
お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

警告

- ・肩ハーネスが肩にかかるっていない状態で使用しない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突の際に充分性能を発揮できません。

6

- ハーネス調節ベルトのホックをフットレストのホックにとめる。



前向き使用時の確認

〈お子さまを乗せた後に必ず確認する。〉

・正しくできていない場合は、もう一度P47～P49の手順をやり直してください。

肩よりすぐ下の肩ハーネス位置に調節している。

ヘッドガードが倒されている。



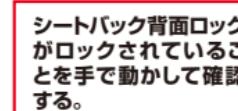
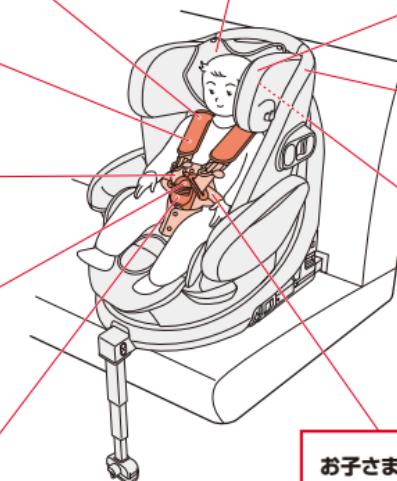
お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出でていない。

肩パッドが引き出されている。

肩ハーネス、腰ハーネスにねじれやゆるみがない。

タングをバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、インジケーターが「緑色」に変わっている。

バックルが股ハーネスカバーよりはみ出していない。



シートバック背面ロックがロックされていることを手で動かして確認する。



シートバック背面ロックがロックされていることを目視で確認する。

前向き

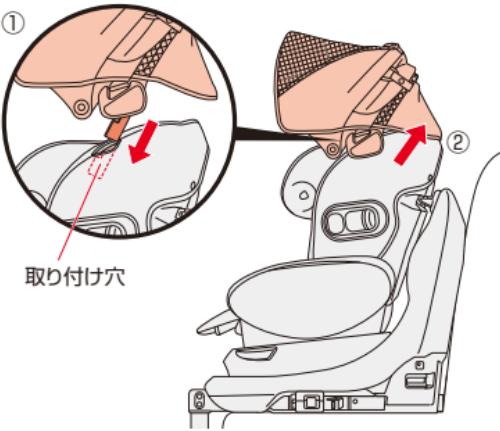
フレックスシェードの使いかた

日差しなどを防ぎたい時に本製品に取り付けてお使いください。

※フレックスシェードはグレードにより異なります。

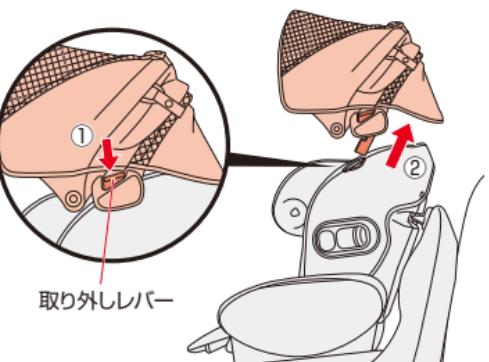
〈フレックスシェードの取り付け〉

- ①フレックスシェードを取り付け穴に差し込む。
- ②上に引き上げ、外れないことを確認する。



〈フレックスシェードの取り外し〉

- ①取り外しレバーを押した状態で、
- ②フレックスシェードを取り付け穴から斜め上方向に引き抜く。



取り外しにくい場合は、シート部を後向きにしてから取り外してください。



・フレックスシェードが左右共に正しく固定されていること。衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。

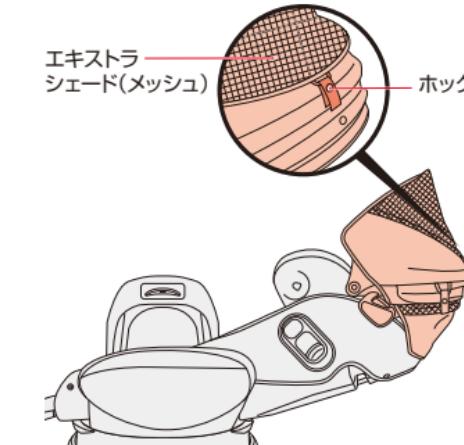


・窓を大きく開けて走行するなど、車内に風が強く吹き込む状態では使用しないでください。

横向きベッド時の使いかた (4Way)

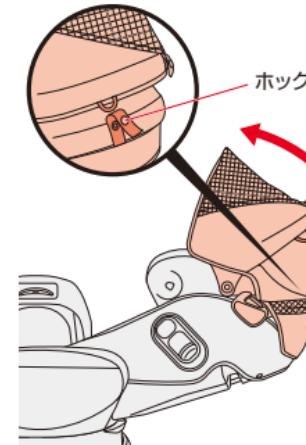
〈1段目使用時〉

- ・エキストラシェード(メッシュ)がホックでとまっていることを確認する。(一部グレードのみ)



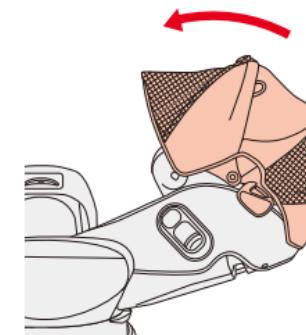
〈2段目使用時〉

- ・フレックスシェードの左右のホックを外し、矢印の方向に開く。



〈3段目使用時〉

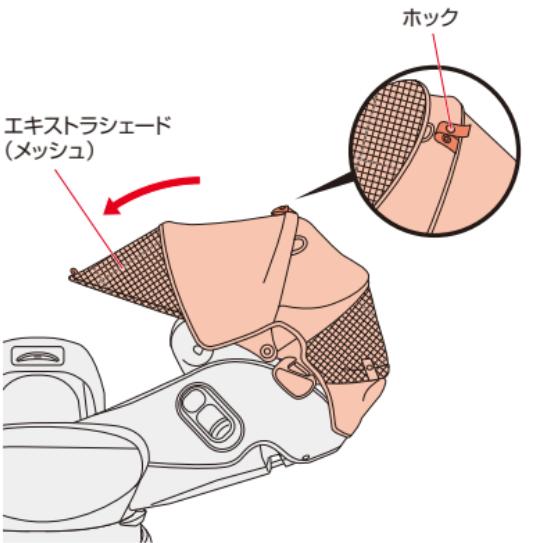
- ・フレックスシェードを矢印の方向に開く。



フレックスシェードの使いかた

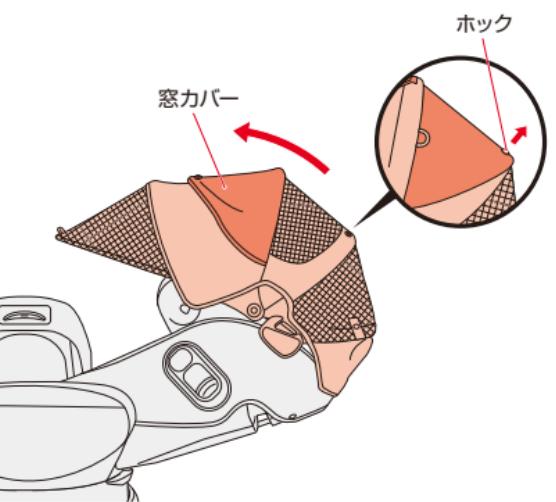
〈エキストラシェード(メッシュ)使用時〉

- ・エキストラシェード(メッシュ)のホックを外し、矢印の方向に開く。(一部グレードのみ)



〈窓カバーの開きかた〉

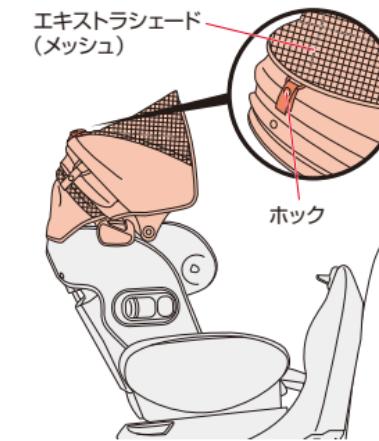
- ・窓カバーのホックを外し、矢印の方向に開く。
窓からお子さまの様子を見ることができます。
(一部グレードのみ)



後向き時の使いかた (3Way)

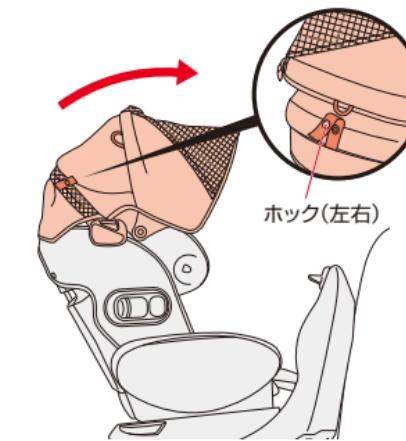
〈1段目使用時〉

- ・エキストラシェード(メッシュ)がホックで
とまっていることを確認する。
(一部グレードのみ)



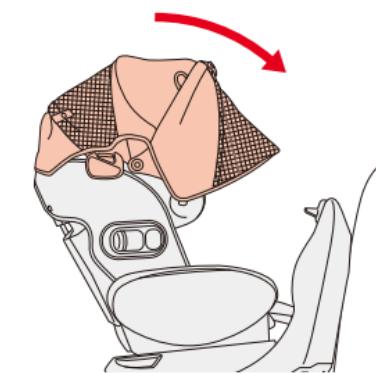
〈2段目使用時〉

- ・フレックスシェードの左右のホックを
外し、矢印の方向に開く。



〈3段目使用時〉

- ・フレックスシェードを矢印の
方向に開く。



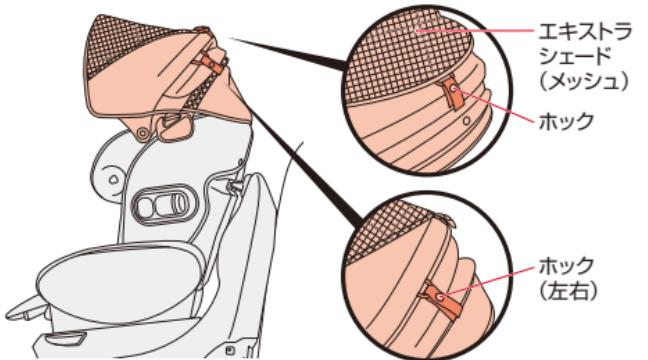
・後向き時はエキストラシェード(メッシュ)を使用しない。(一部グレードのみ)

フレックスシェードの使いかた

前向き時の使いかた

〈1段目使用時〉

- ・フレックスシェードを左右のホックでとめ、1段目で固定されていることを確認する。
- ・エキストラシェード(メッシュ)がホックでとまっていることを確認する。(一部グレードのみ)



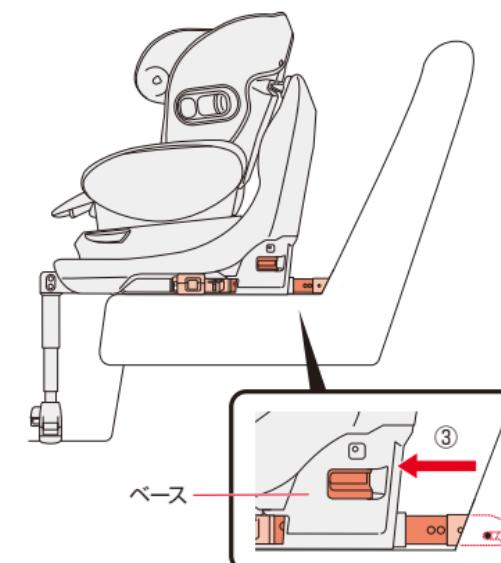
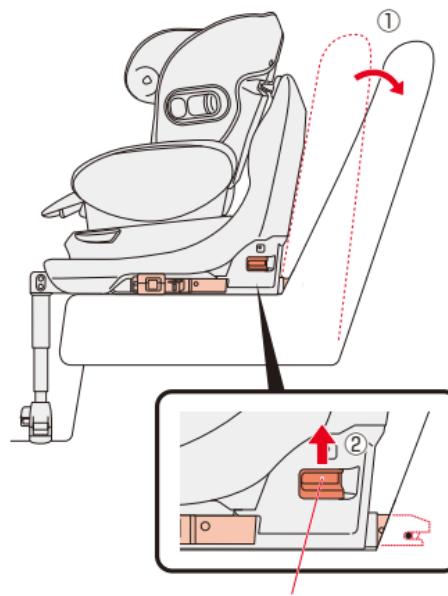
・前向き時はフレックスシェードの1段目以外で使用しない。
衝突の際に、お子さまの顔などに当たり重傷を負うおそれがあります。



車からの取り外しかた

1

- ①車の背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。
- ②左右のコネクター解除レバーを引き上げながら、
- ③ベースを手前に引く。

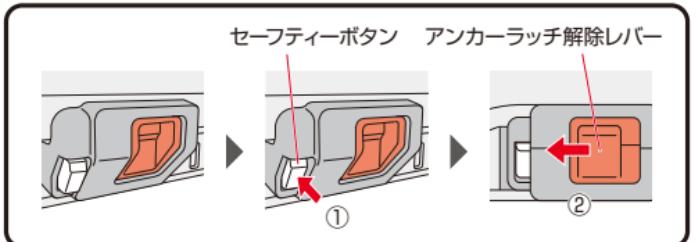


ベースを手前に引きにくい場合はサポートレッグを車のフロアから浮かせてからベースを手前に引いてください。(P22参照)

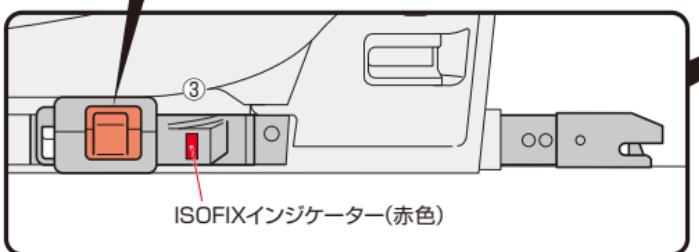
車からの取り外しかた

2

- ①左右のアンカーラッチ解除レバーのセーフティーボタンを押しながら、
- ②矢印の方向へアンカーラッチ解除レバーを握り、ISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)から解除する。

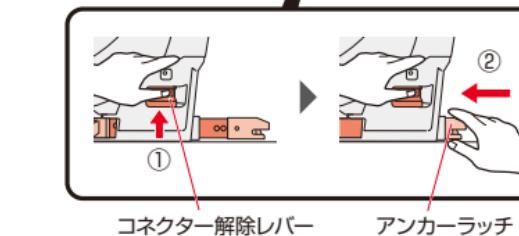


- ③ISOFIXインジケーターが「緑色」から「赤色」になり解除したことを確認する。(左右)
- ④解除した状態でベースを手前に引き寄せる。

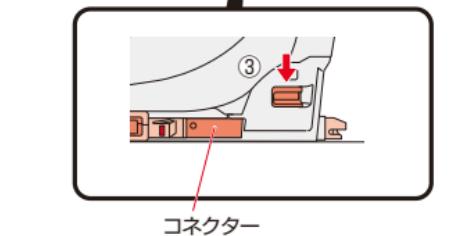


3

- ①コネクター解除レバーを上げながら、
- ②アンカーラッチを収納する。(左右)



- ③コネクター解除レバーが復帰し、コネクターが動かないことを確認する。



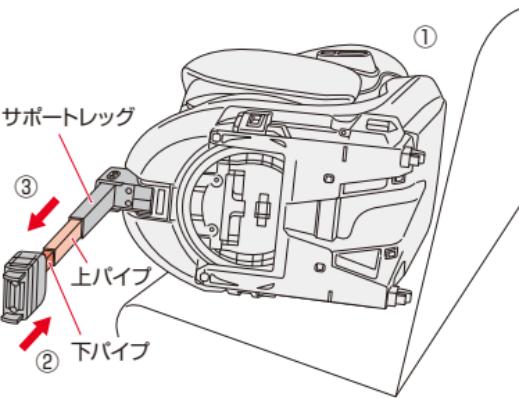
車からの取り外しかた

車からの取り外しかた

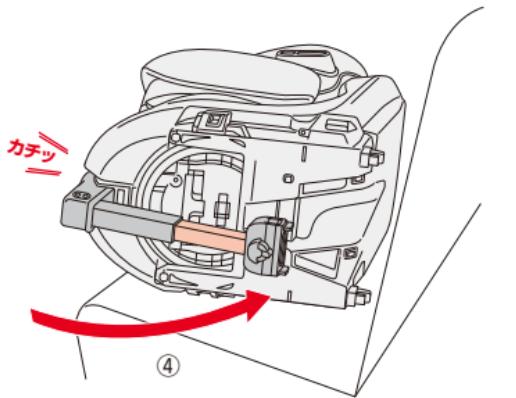
4

〈サポートレッグを収納する〉

- ①本体を横に寝かせる。
- ②サポートレッグの下パイプを最も短い状態の長さにする。(P22参照)
- ③上パイプを最も長い状態の長さにする。(P22参照)



- ④サポートレッグを「カチッ」と音がするまで折りたたみ、ロックされたことを確認する。



・サポートレッグ操作時は、手、指などを挟まないように注意する。
思わぬ重傷を負う可能性があります。

・本製品を移動する際には、サポートレッグで手、指などをはさまないように注意する。
思わぬ重傷を負う可能性があります。

縫製品の洗いかた

※グレードにより縫製品は異なります。

	全身マモール クッション	背クッション・ 座面カバー	肩パッド カバー	股ハーネス カバー	共通
フランティア グロウ エバー [®] プレミアム					 フットアジャスター カバー
フランティア グロウ エバー [®]					 シートカバー サイドカバー



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止



・他のものと一緒に洗濯しないでください。色移り(移染)のおそれがあります。
・肩パッド、フレックスシェードは洗濯できません。
樹脂部分、ハーネス、肩パッド、フレックスシェードのお手入れに従ってください。(P66参照)

シートカバーの取り外しかた

※横向きベッドにしてから行ってください。

※シートカバーの取り付けは逆の手順で行ってください。

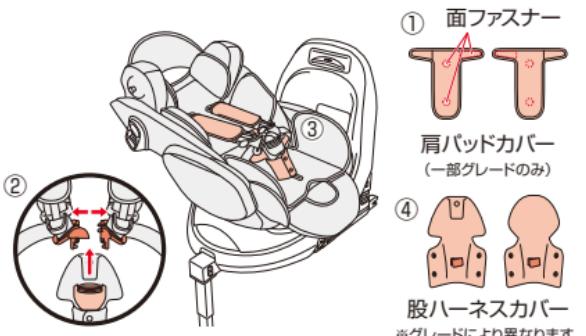
1 <肩パッドカバー・股ハーネスカバーの取り外しかた>

①肩パッドの面ファスナー(3カ所)を外し、肩パッドカバーを取り外す。(P35参照)

②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。

③股ハーネスカバーのホック(2カ所)を外す。

④面ファスナーを外し、股ハーネスカバーを取り外す。

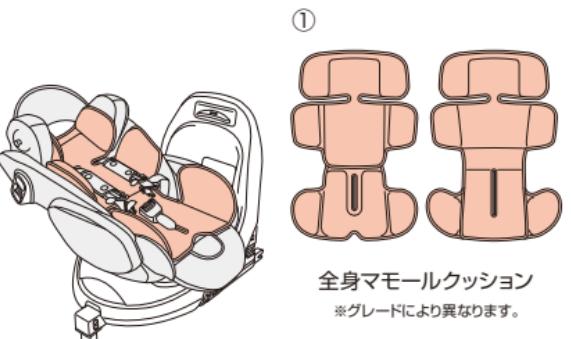


警告

- シートカバーを取り外した状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ハーネスを取り外さない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

2 <全身マモールクッションの取り外しかた>

①股ハーネスを抜き、全身マモールクッションを取り外す。



注意

- 肩パッドは取り外しできません。

3 <背もたれカバーの取り外しかた>

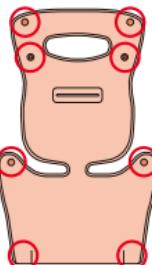
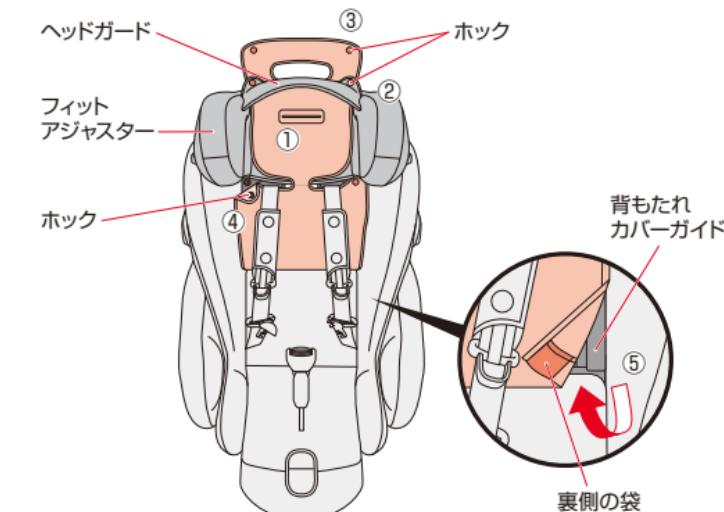
①フィットアジャスターを最上段まで引き上げ、ヘッドガードを起こす。

②フィットアジャスターカバーのホック(2カ所)を外す。

③背もたれカバー背面のホック(2カ所)を外す。

④背もたれカバー正面のホック(2カ所)を外す。

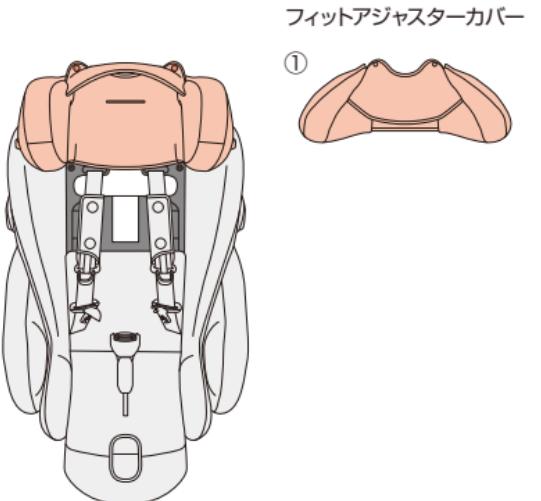
⑤背もたれカバーダー下部裏側の袋(2カ所)を背もたれカバーガイドから抜き取り、取り外す。



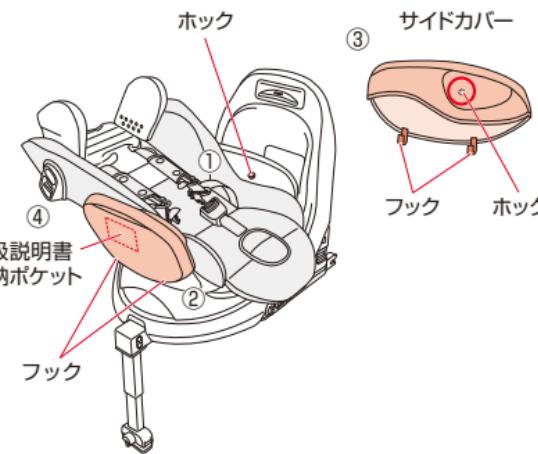
背もたれカバー

シートカバーの取り外しかた

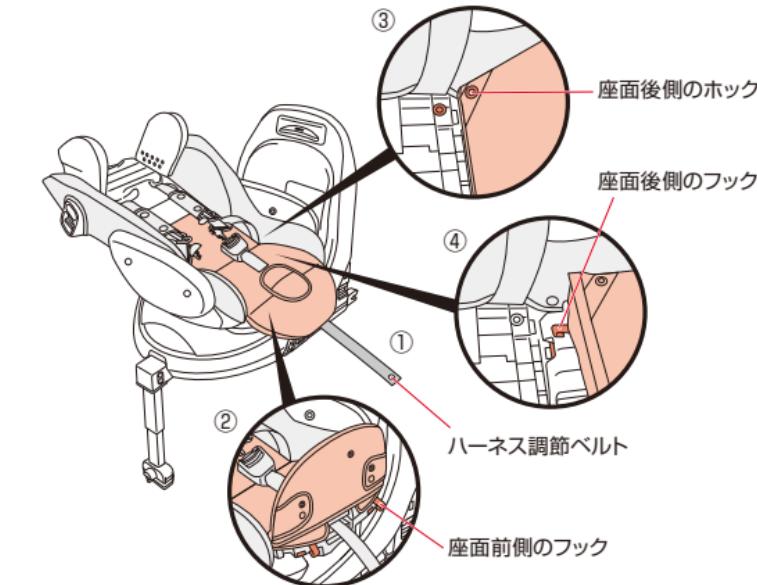
4 <フィットアジャスターの取り外しかた> ①フィットアジャスターを外す。



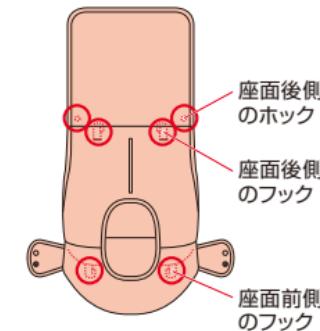
5 <サイドカバーの取り外しかた> ①サイドカバーのホック(1力所)を外す。 ②サイドカバーを下に引っぱり、フック(2力所)を外す。 ③サイドカバーを取り外す。 ④取扱説明書収納ポケットから取扱説明書を取り出す。



6 <背クッション・座面カバーの取り外しかた> ①ハーネス調節ベルトのホックを外す。 ②カバー前側を下に引っぱり、フック(2力所)を外す。 ③座面後側のホック(2力所)を外す。 ④カバー後側を背もたれ側に引っぱり、フック(2力所)を外す。 ⑤股ハーネスを抜き、背クッション・座面カバーを取り外す。



背クッション・座面カバー



お手入れ

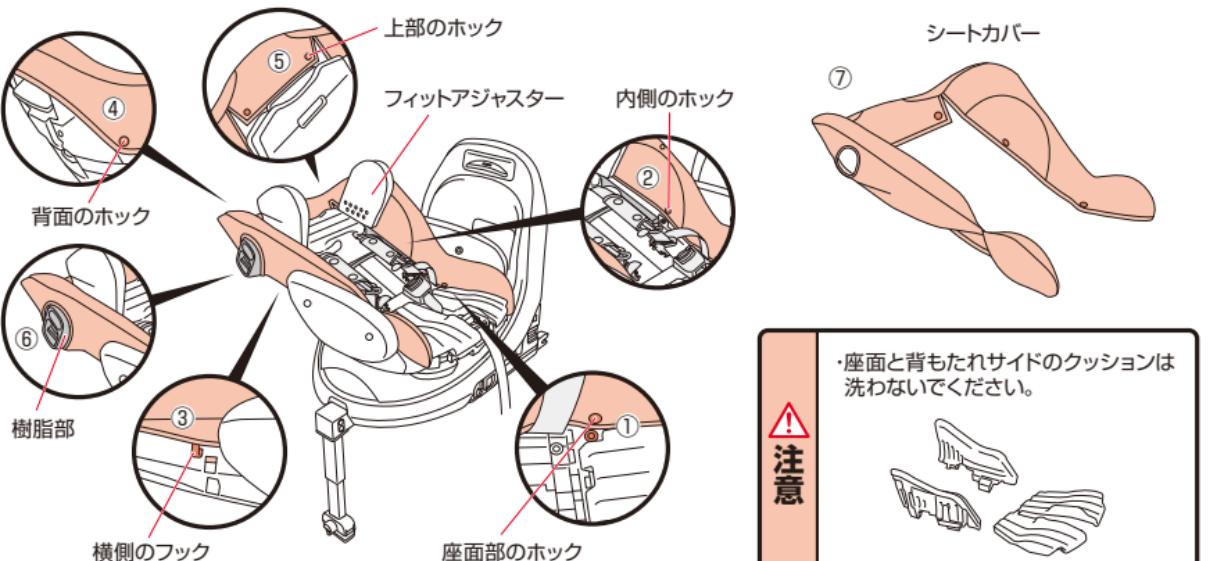
シートカバーの取り外しかた

7

〈シートカバーの取り外しかた〉

- ①座面部のホックを外す。(左右)
- ②背もたれ内側のホックを外す。(左右)
- ③シートカバーの横側を下に引っぱり、フック(左右)を外す。
- ④背もたれ背面のホックを外す。(左右)

- ⑤フィットアジャスターを最下段まで引き下げ、背もたれ上部のホックを外す。(左右)
- ⑥樹脂部のシートカバーを外す。(2カ所)
- ⑦シートカバーを取り外す。



お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈樹脂部分、ハーネス、肩パッド、フレックスシェードのお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・回転レバー付近にゴミがつまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネス、肩パッド、フレックスシェードは日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネス、肩パッド、フレックスシェードは日陰で乾燥させてください。



- 注意**
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉

- ・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



- 注意**
- ・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。
 - ・各レバーが元の位置に戻っていることを確認してください。故障の原因になります。

〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

困ったときには

〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P69「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	アプリカホームページ[https://www.aprica.jp/]や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	エアバックのある助手席に取り付けることはできません。また、車の後部座席(3列シートの車の場合は2列目以降の座席)への取り付けをお奨めします。(P9「座席の条件」参照)
チャイルドシートをどの向きで使えば良いか判らない。	お子さまの身長や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。(P7「お子さまの条件」参照)



〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 (P17~P24「取り付け準備」、「取り付けかた」参照) 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。 弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P69「アフターサービスについての連絡先」参照)
車のシートのISOFIXチャイルドシート取付金具(バー)にうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。 (P19「取り付けかた」参照)
ベースの前方と車のシートの間に25mm以上のすき間ができる。	サポートレッグの長さをもう一度調節してください。(P22「取り付けかた」参照) 取り付け時に車の背もたれを倒した場合は、車の背もたれをベースに接するまで起こしてください。 (P21「取り付けかた」参照)

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバッグルにタングが差し込めない。	肩ハーネスの位置を確認してください。(P31「ハーネス位置」参照) 車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。	お子さまが座席に浅く座り、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っている場合は正しく乗せ直してください。(P43参照)
肩ハーネスのねじれがとれない。	左のQRコードから対処方法をご覧ください。



〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
リクライニングが起こしにくい。	肩ハーネスをゆるめてください。(P25「肩ハーネス位置の調節のしかた」参照)
回転できない。	リクライニングの段数により回転できる範囲が異なります。回転可能なリクライニングの段数に調節してください。(P28「回転のしかた」(リクライニングの段数による回転できる範囲)参照) ベース前方と車のシートの間に25mmを超えるすき間がある場合はサポートレッグを縮めてください。 (P22「取り付けかた」参照)
アンカーラッチが解除できない。	車のISOFIXバーの形状により、アンカーラッチ取り付け後も本製品がある程度左右に動きますが、ISOFIXバーの端にアンカーラッチが寄り過ぎ干渉することで解除できない場合があります。その際は本製品を中央(アンカーラッチをISOFIXバーの中央)に戻してからアンカーラッチを解除してください。 車のISOFIXバーの位置や座席の形状により、アンカーラッチに負荷がかかり解除できない場合があります。その際はベース前部を持ち上げ、ベースの角度を調節しながらアンカーラッチを解除してください。

保証について

〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

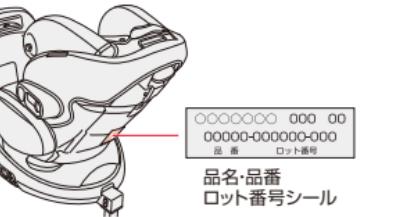
・保証期間中(**購入日より1年間です。**)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。

ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は、製品交換とさせていただくことがございます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。**(修理箇所の保証期間は1ヶ月です。)**

また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。**(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。)**

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター **TEL 0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート

貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。